

年 報

— 平成31・令和元年度 —



No. 9

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

目 次

I	沿革	1
II	施設概要	
	1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）	2
	2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）	3
III	教育普及等	
	1. 常設展示	4
	2. 企画展示	6
	3. 教育普及の実績	11
	4. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）	16
	5. 地域連携	16
	6. 世界遺産登録へ向けた取り組み	18
	7. 調査研究	19
	8. 広報・情報発信	21
	9. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	22
IV	埋蔵文化財調査等	
	1. 発掘調査事業概要	23
	2. 調査概要	27
	3. 発掘調査報告書	35
	4. 情報公開	36
	5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業	37
	6. 埋蔵文化財活用活性化事業	37
V	史跡整備	
	1. 史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業	38
	2. 史跡維持管理	39
	3. 一王寺遺跡内容確認調査	39
VI	管理運営概要	
	1. 協議会等	40
	2. 日記抄	41
	3. 来館者利用状況	44
	4. 小中学校利用状況	45
	5. 資料利用状況	45
	6. 資料収蔵	49
	7. 予算概要	49
VII	組織・関係団体	
	1. 組織及び職員構成	50
	2. 八戸縄文保存協会	50
	3. 是川文化財愛護会	50
	4. 是川縄文隊	51
	5. 縄文是川ボランティア	51
	利用案内	52

I 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成23年(2011)に開館した。是川遺跡、風張1遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資する。

また、八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成6年(1994)に開館した。平成23年(2011)5月に一時休館し、展示リニューアルを経て、同年7月10日に改めて開館した。なお平成23年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

- 昭和32年(1957) 「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和36年(1961) 泉山岩次郎氏、斐次郎氏ご兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和37年(1962) 寄贈品のうち、中居遺跡出土品633点が重要文化財に指定。
- 昭和38年(1963) 「考古館」完成(9月30日)。
- 昭和49年(1974) 「歴史民俗資料館」完成(3月30日)。
- 昭和50年(1975) 「歴史民俗資料館」開館(5月10日)。
- 平成5年(1993) 3月「縄文学習館」基本設計完成。 4月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5月 建築予定地発掘調査実施(8月終了)・地質調査完了。
6月 映像展示ソフト製作委託実施。 7月 建築実施設計完成。
8月 展示実施設計完成。
- 平成6年(1994) 3月 建築・設備・展示各工事完成。
6月「縄文学習館」開館(6月24日、八戸市博物館分館)。
- 平成7年(1995) 是川遺跡文化学習ゾーンオープン(2月22日)。
- 平成9年(1997) 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成15年(2003) 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成16年(2004) 「是川縄文の里整備検討委員会」が(仮称)是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。史跡追加指定。
- 平成17年(2005) (仮称)是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成18年(2006) 施設の機能にあわせ(仮称)是川縄文館と改める。
プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
実施設計を実施。
- 平成18年(2007) 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成20年(2009) 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成21年(2010) 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成22年(2011) 4月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
中居遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定(総数963点)。
7月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館(7月10日)。
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催(7月10日～9月25日)。
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催(7月17日)。
8月 来館者1万人達成。※本館観覧者数
10月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催(10月15日～11月13日)。
- 平成24年(2012) 7月 開館1周年行事開催(7月7日～7月24日)。
来館者5万人達成。※本館入館者総数
- 平成25年(2013) 10月 史跡追加指定(史跡総面積213,497㎡、遺跡全体の56.78%)。
- 平成26年(2014) 6月 来館者10万人達成。※本館入館者総数
- 平成28年(2016) 5月 来館者15万人達成。※本館入館者総数
7月 開館5周年行事開催(7月9日～7月10日)。
10月 史跡追加指定(史跡総面積219,009㎡、遺跡全体の58.24%)。
- 平成30年(2018) 1月 来館者20万人達成。※本館入館者総数
3月 「史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画」を策定。
- 令和元年(2019) 10月 来館者25万人達成。※本館入館者総数

II 施設概要

1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
- 住所：青森県八戸市大字是川字横山1

(2) 施設の概要

- 構造：1階鉄筋コンクリート造+2階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株)丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：2,408.19㎡ 2階：2,185.63㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	体験交流室	142.8	1F	館長室(応接室)	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06		器材庫	56.25		研究室	151.13
	荷解場	104.62	常設展示室	503.01	出土品整理室		143.47	
	保存科学室	55.90	国宝展示室	46.60	図面整理室		87.86	
	作業室	54.90	企画展示室	178.37	写真撮影室		41.66	
	ミュージアムショップ	78.59	展示準備室	81.94	ベビーコーナー		4.48	

○駐車場：普通車86台、大型バス6台、障がい者用3台 ○トイレ：2か所（障がい者用含む、職員用除く）

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439千円

- 基本・実施設計：87,740千円 ○外構工事等：189,120千円 ○本棟工事等：1,628,434千円
- 器材庫建築工事等：50,012千円 ○展示工事：287,133千円



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）
- 住所：青森県八戸市大字是川字中居3-1

(2) 施設の概要

- 構造：1階・2階鉄筋コンクリート造
- 敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)武田菱設計事務所 ○建築工事：(株)大入建設
- 展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発(株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：519.940㎡ 2階：103.880㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	事務室	29.975	1F	常設展示室	118.673	2F	資料整理室	34.504
	情報資料室	29.635		体験学習室	80.750		収蔵庫	46.216

- 駐車場：普通車8台 ○トイレ：1か所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

- 基本・実施設計：11,845千円 ○外構工事等：5,789千円 ○本棟工事等：241,665千円
- 展示工事・映像資料製作：68,644千円 ○その他：13,728千円

(5) 展示改修等事業費

- 事業費：8,810千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発(株)



八戸市縄文学習館
（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）

III 教育普及等

1. 常設展示

(1) 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

常設展示は、直感的な手法で是川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行う（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイマージョン・シアターは、来館者に是川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多様に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成する。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川之美」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。平成31・令和元年度は、昨年度から引き続き、第6回「貝塚を発掘する『一王寺遺跡』」を公開している。合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。

なお、1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

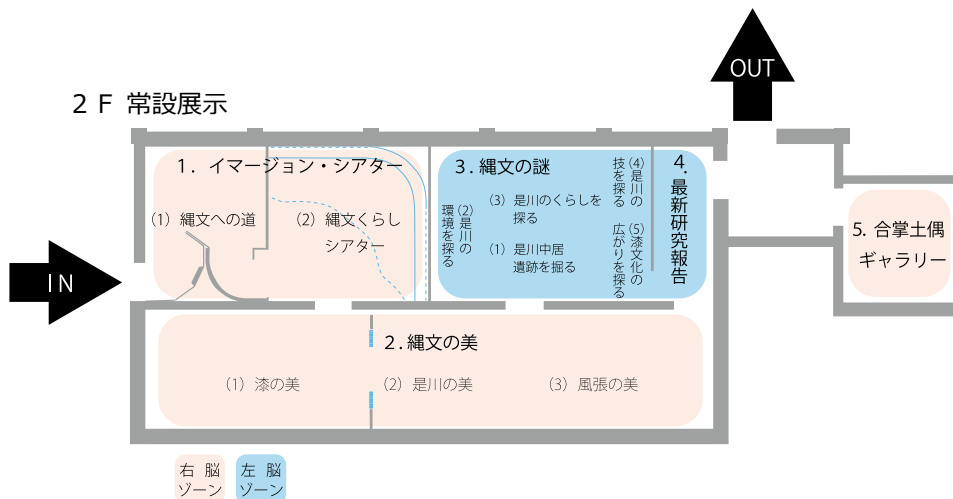
展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	52	50	2	-	-	-
是川之美	220	172	48	-	-	-
風張の美	203	203	-	-	-	-
縄文の謎	72	38	3	1	23	7
最新研究報告	40	-	40	-	-	-
国宝展示室	1	※国宝 1	-	-	-	-
計	588	464	93	1	23	7

常設展示品（平成31・令和元年度）

※考古資料のうち国指定重要文化財が占める割合は約8割

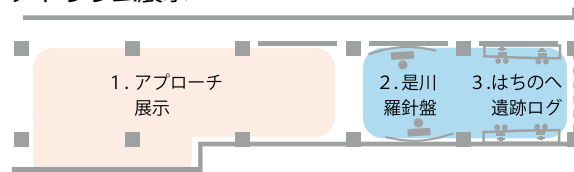


縄文の美



国宝展示室

1 F アトリウム展示



是川羅針盤

展示構成

(2) 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

是川縄文館分館の常設展示では、是川遺跡の学史的背景や概要について紹介するとともに、埋蔵文化財センターの役割について解説しており、本館常設展示へのプロローグとなっている。

I 是川遺跡と泉山兄弟

是川遺跡の発掘と保存に大きな功績を残した泉山岩次郎、斐次郎ご兄弟を顕彰し、泉山ご兄弟による是川遺跡発掘の歴史や、考古学研究者たちとの関わり等について紹介する。

II 是川遺跡

是川遺跡を構成する一王寺遺跡（縄文時代前期～中期）、堀田遺跡（縄文時代中期）、中居遺跡（縄文時代晩期）について概要を紹介する。また各遺跡の日本考古学史に残る貴重な発見について解説している。

III 是川遺跡の環境

中居遺跡の花粉分析の成果をもとに、縄文時代晩期の頃の環境について紹介する。また屋外に植栽した縄文時代の植物を散策してもらうよう、植物の種類・地点を図表で示しており、フィールドミュージアムの要素を盛り込んでいる。

IV 埋蔵文化財センターの役割

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の機能・役割について紹介する。展示は「埋蔵文化財の保護」、「発掘調査」、「整理作業」、「発掘調査報告書の作成」、「埋蔵文化財の活用と普及」の5項目で構成し、埋蔵文化財保護意識の啓発に努める。また、これまで作成・刊行した八戸市内の遺跡の発掘調査報告書を設置し、閲覧できるようになっている。

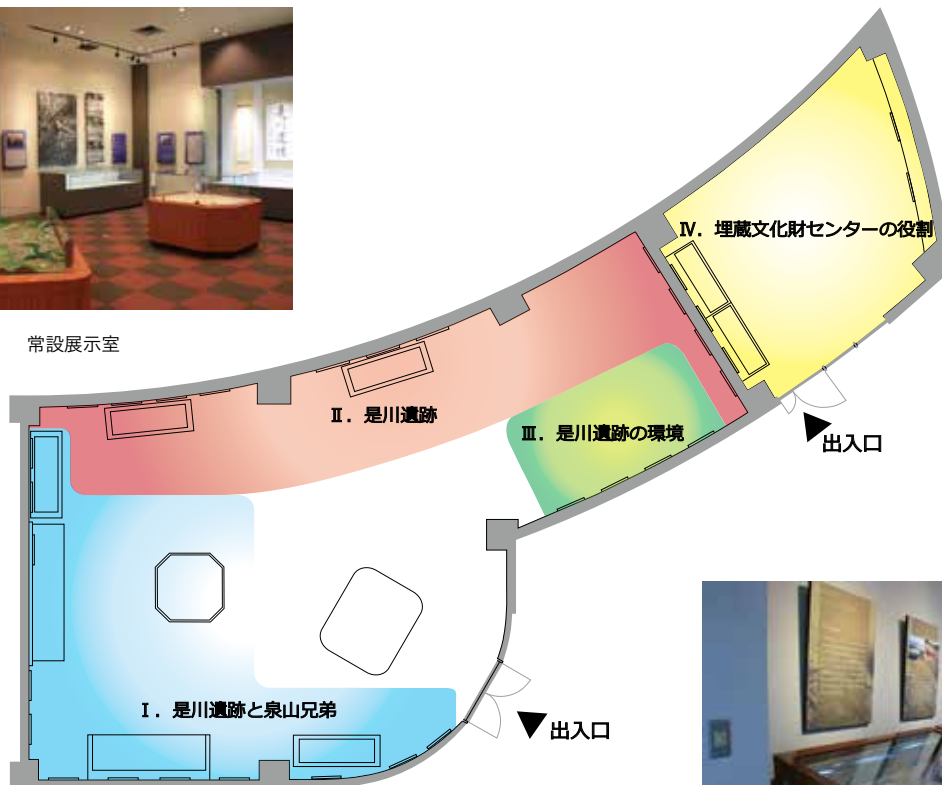
展示室	展示品	文献史料	民俗資料
是川遺跡と泉山兄弟	61	51	10
是川遺跡	3	3	-
埋蔵文化財センターの役割	6	6	-
計	70	60	10

常設展示品（平成 31・令和元年度）

※埋蔵文化財の展示公開はしていない



常設展示室



展示構成



IV 埋蔵文化財センターの役割

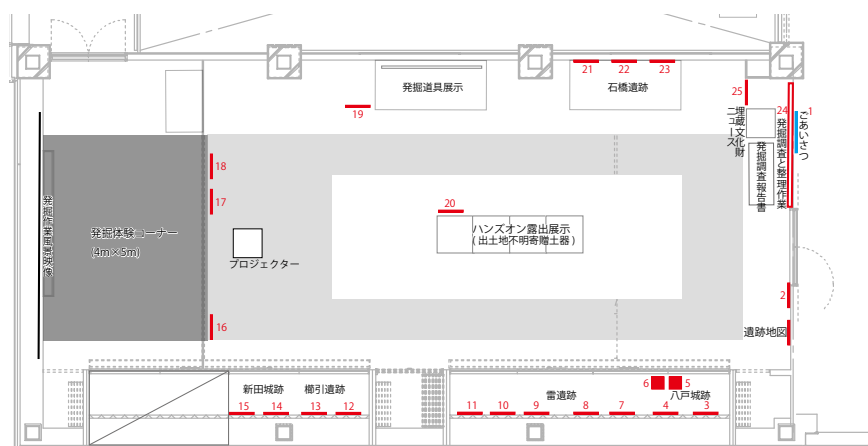
2. 企画展示

平成31・令和元年度は、春季企画展「掘り day はちのへ～平成30年度発掘資料展～」、特別展「北の縄文世界－北海道・北東北の縄文遺跡群－」、秋季企画展「山のいとなみ」、冬季企画展「是川遺跡の壺形土器」を開催した。

(1) 春季企画展「掘り day はちのへ～平成30年度発掘資料展～」

- 開催期間 4月27日(土)～6月23日(日) 52日間
- 観覧者数 6,007人 (116人/日)
- 展示資料数 215点
- 印刷物 ポスター (B2版) 500枚 リーフレット (A4版) 50,000枚 解説リーフレット (A3版) 5,000枚
- 主な展示品 弥生土器 (八戸城跡)、土師器 (雷遺跡)、陶磁器 (新田城跡)、銭貨等 (石橋遺跡) 発掘道具
- 併催行事 ギャラリートーク 5/11、6/8 各日とも午前10時半～

平成30年度に八戸市内で行われた、主要な発掘調査の成果を紹介した。出土品や発掘道具の展示のほか、土器の出土等を擬似的に味わえる「発掘体験コーナー」、実物の土器に触ることができるハンズオンコーナーを設置した。会期中には、調査を担当した学芸員によるギャラリートークを開催した。



展示構成



春季企画展リーフレット



発掘体験コーナー



ハンズオンコーナー

(2) 特別展「北の縄文世界 - 北海道・北東北の縄文遺跡群 -」

開催期間 7月20日(土)～9月8日(日) 50日間

観覧者数 7,055名(141人/日)

展示資料数 174点

印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚

解説リーフレット(A3版)5,000枚 招待券2,000枚

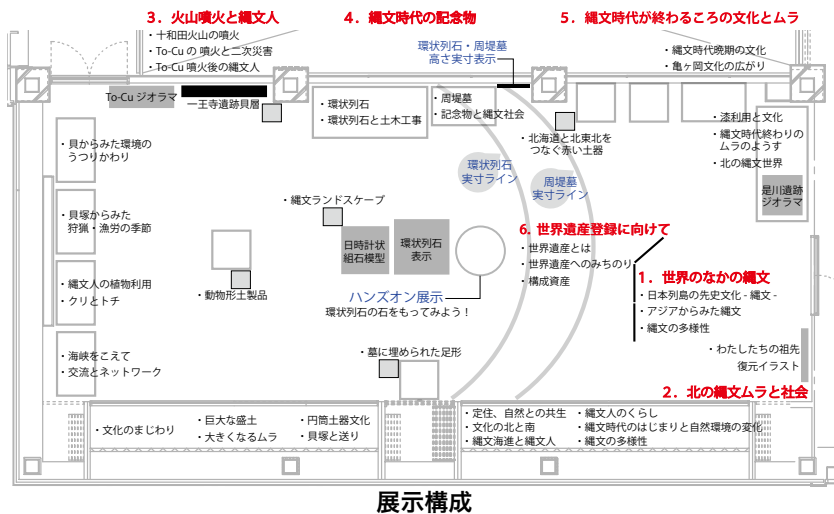
図録(A4カラー106ページ)500部

主な展示品 動物形土製品(北海道美々4遺跡)、足形付土版(北海道豊原4遺跡)、骨角貝製品(北海道コタン温泉遺跡・北黄金貝塚、青森県田小屋野貝塚・ニツ森貝塚)、漆製品(青森県是川中居遺跡・亀ヶ岡遺跡)、縄文土器(北海道野田生1遺跡、青森県大平山元遺跡・長七谷地貝塚、岩手県御所野遺跡)、ヒスイ製大珠(青森県三内丸山遺跡)、青竜刀形石器(北海道垣ノ島遺跡)、石皿(北海道大船遺跡)、石製品(北海道キウス周堤墓群、秋田県大湯環状列石・伊勢堂岱遺跡)、貝層(青森県是川一王寺遺跡)

併催行事 特別展ギャラリートーク 会期中土曜日(各1回)午後2時～ ※8/24は午前10時～
特別展考古学講座 8/24 午後2時～

北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町で世界遺産への登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関する展示。縄文遺跡群を知る上でかかせない「定住」や「自然との共生」、「祭祀・儀礼」、「交流」をキーワードに、世界的な価値や北の縄文人のくらしと文化、構成資産の遺跡などをできる限りわかりやすく紹介した。

会期中には「北海道・北東北の縄文遺跡群」がUNESCOへの次期国内推薦候補に選定され、市内外から関心をもった来場者が訪れていた。連日、展示室内は観覧者でにぎわい、世界遺産登録へ向けて大きなPRとなった。



展示構成



特別展リーフレット



展示状況



動物形土製品(重要文化財 北海道千歳市美々4遺跡)

III
教育普及等

(3) 秋季企画展「山のいとなみ」

開催期間 10月5日(土)～11月24日(日) 44日間

観覧者数 3,425人(78人/日)

展示資料数 158点

印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚

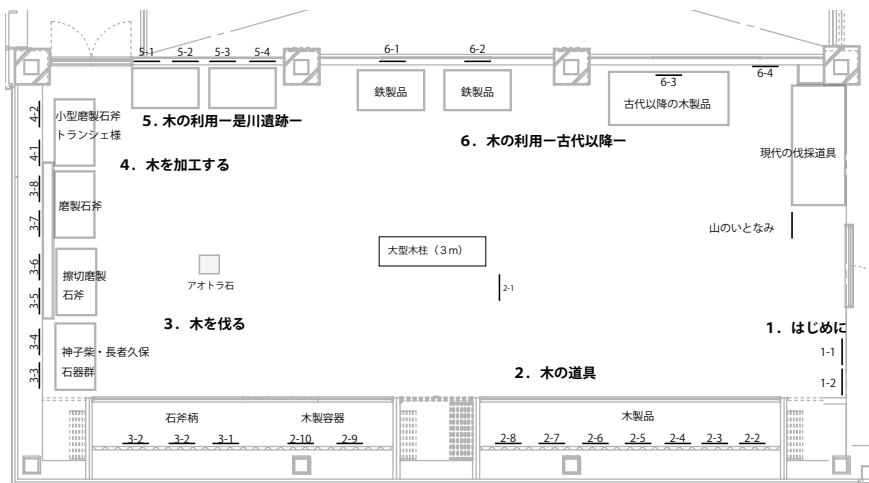
解説リーフレット(A3版)5,000枚 秋季企画展図録(A4版52ページ)500部

主な展示品 木製品(青森市三内丸山遺跡、岩渡小谷(4)遺跡、新田(1)遺跡、八戸市是川中居遺跡、根城跡、新井田古館遺跡、大仏遺跡、大鰐町大平遺跡)、石器(青森市三内丸山遺跡、むつ市涌館遺跡、十和田市中里(2)遺跡、八戸市是川中居遺跡、風張1遺跡、新井田古館遺跡、笹ノ沢(3)遺跡、荒谷遺跡、大鰐町砂沢平遺跡、むつ市板子塚遺跡)、鉄製品(青森市山元(2)遺跡、浪岡城跡、大鰐町大平遺跡、おいらせ町阿光坊古墳群)、現代の伐採具や木材加工具

併催行事 会期中土曜日(各1回)午後2時～ ※11/2、11/9は午前10時～

企画展考古学講座 11/2 午後2時～

縄文時代から現代まで続く木の利用を通じて、人と森とのかかわりについて考えることをテーマとした展示。青森県内の資料を中心に木の道具や伐採具、木材加工の道具、漆利用のための道具などを展示し、人びとがどのように木を利用し、森とともに生きてきたのかを紹介した。また、日本芸術文化振興会主催「日本博参画プロジェクト」へ登録し、地域文化について学ぶ展示とした。



展示構成



秋季企画展リーフレット



展示状況



大型木柱(是川中居遺跡)

(4) 冬季企画展「是川遺跡の壺形土器」

開催期間 令和元年12月14日(土)～令和2年4月17日(金) 100日間
 観覧者数 3,001名(36人/日)※3月31日時点
 展示資料数 205点
 主な展示品 壺形土器(八戸市是川中居遺跡)

是川遺跡発掘100周年を記念してスタートした出土品を種類別に紹介するシリーズ企画第1回。是川遺跡の壺の多様性を示しつつ、形やデザインのうつり変わりなどを展示したほか、保存修理した是川遺跡出土品を公開する機会とした。3月22日までの会期を、好評につき5月6日まで期間を延長させたが、新型コロナウイルス感染症対策により、4月17日で閉幕した。



展示構成



展示状況



壺形土器



とっても小さい壺形土器

冬季企画展ポスター

III 教育普及等

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
平成 23 年	開館記念企画展	八戸の埋蔵文化財	7/10～9/25	77	19,245	249	222
平成 23 年	開館記念特別展	縄文至宝展	10/15～11/13	27	7,509	278	358
平成 24 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 23 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	6,632	125	56
平成 24 年	特別展	発掘された日本列島 2012 新発見考古速報	8/8～9/17	38	7,723	203	600
平成 24 年	秋季企画展	縄文のストーンサークル	10/13～11/25	39	3,037	77	169
平成 25 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 24 年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	4,135	79	120
平成 25 年	特別展	みみずく土偶と縄文人-関東の晩期安行文化-	7/20～9/2	41	4,577	111	203
平成 25 年	秋季企画展	縄文時代の津軽半島	10/12～11/24	38	2,884	74	235
平成 26 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 25 年度発掘資料展～	4/26～6/22	52	3,630	69	138
平成 26 年	特別展	トーマポールの人びと～漁労・狩猟採集民の暮らし～	8/1～9/15	42	5,364	128	115
平成 26 年	秋季企画展	海と火山と縄文人-是川縄文館・東京大学共同研究展示-	10/11～11/24	39	3,168	81	179
平成 27 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 26 年度発掘資料展～	4/26～6/22	51	4,477	88	190
平成 27 年	特別展	漆と縄文人	7/25～9/6	39	5,753	148	162
平成 27 年	秋季企画展	小川原湖周辺の縄文文化	10/10～11/23	39	3,782	97	221
平成 27 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真-	12/19～3/21	74	2,775	38	24
平成 28 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 27 年度発掘資料展～	4/29～6/26	52	4,532	88	190
平成 28 年	特別展	山の縄文世界-中部高地の縄文時代-	7/23～9/4	39	5,320	136	122
平成 28 年	秋季企画展	馬淵川流域の縄文時代	10/8～11/20	38	3,446	91	172
平成 28 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2-	12/17～3/20	75	2,336	32	38
平成 29 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 28 年度発掘資料展～	4/29～6/25	52	4,187	80	138
平成 29 年	特別展	発掘された日本列島 2017 新発見考古速報	8/5～9/18	42	7,600	180	497
平成 29 年	地域展	八戸の土偶	8/5～9/18	42	-	-	467
平成 29 年	秋季企画展	是川縄文ムラを観る・描く-人と風と草木のものがたり-	10/14～11/26	38	2,653	69	112
平成 29 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3-	12/16～3/21	75	1,948	25	43
平成 30 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 29 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	4,354	82	210
平成 30 年	特別展	海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～	7/21～9/2	43	5,440	126	215
平成 30 年	秋季企画展	どうぶつと縄文人	10/6～11/25	45	4,009	89	243
平成 30 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.4-	12/15～3/21	75	2,254	30	78
平成 31 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 30 年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	6,007	116	215
令和元年	特別展	北の縄文世界-北海道・北東北の縄文遺跡群-	7/20～9/8	50	7,055	141	174
令和元年	秋季企画展	山のいとなみ	10/5～11/24	44	3,425	78	158
令和元年	冬季企画展	是川遺跡の壺形土器	12/14～3/31	84	3,001	36	205

過去9年間の特別展・企画展一覧

3. 教育普及の実績

企画展「掘り day はちのへ」 ギャラリートーク (展示解説)

実施	講師	参加者(人)
5/11(土)	田中美穂(当館学芸員)	11
6/8(土)	横山寛剛(当館学芸員)	6
合計		17

考古学講座

実施	内容	講師	参加者(人)
5/11(土)	世界の先史時代と縄文遺跡群	根岸洋氏(国際教養大学 アジア地域研究連携機構 准教授・副機構長)	61
6/15(土)	円筒土器文化の地域性と三内丸山遺跡	茅野嘉雄氏(青森県教育庁三内丸山遺跡センター保存活用課 副課長)	67
7/13(土)	大平山元遺跡の最新情報と珪質頁岩	駒田透氏(外ヶ浜町教育委員会 社会教育課 総括班長兼学芸員)	55
	小牧野遺跡にみる縄文時代の土木工事と祭祀	児玉大成氏(青森市教育委員会文化財課 主幹)	
12/7(土)	世界遺産としての縄文遺跡の価値を考える	小杉康氏(北海道大学大学院 文学研究院 教授)	39
1/18(土)	縄文時代中期における大船遺跡と道南地域の遺跡	福田裕二氏(函館市教育委員会 世界遺産登録推進室 主査)	52
2/8(土)	市民とつくる縄文ムラ 史跡梅之木遺跡の保存と活用	佐野隆氏(北杜市教育委員会 学術課長)	42
合計			316

これかわ考古学クラブ

実施	内容	講師	参加者(人)
5/25(土)	開講式	小久保拓也・佐藤ちひろ・山田貴博(当館学芸員)	4
6/1(土)	バックヤードツアーほか	小久保拓也・市川健夫・佐藤ちひろ・山田貴博(当館学芸員)	6
8/3(土)	遺跡を掘る	小久保拓也・横山寛剛・佐藤ちひろ・山田貴博(当館学芸員)	8
10/12(土)	遺物を調べる(注記・撮影)	小久保拓也・佐藤ちひろ・山田貴博(当館学芸員)	3
12/21(土)	遺物をはかる・かく	小久保拓也・佐藤ちひろ・山田貴博(当館学芸員)	7
2/1(土)	修了式	小久保拓也・佐藤ちひろ・山田貴博(当館学芸員)	5
合計			33

合掌土偶国宝指定 10 周年記念講演会

実施	内容	講師	参加者(人)
7/15(月)	縄文土偶の魅力 — 「かお」の造形に着目して—	原田昌幸氏(文化庁文化財第一課 主任文化財調査官)	96
合計			96

特別展ギャラリートーク (展示解説)

実施	講師	参加者(人)
7/20(土)	市川健夫(当館学芸員)	12
7/27(土)	小久保拓也(当館学芸員)	2
8/3(土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	8
8/10(土)	山田貴博(当館学芸員)	2
8/17(土)	市川健夫(当館学芸員)	4
8/24(土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	14
8/31(土)	山田貴博(当館学芸員)	5
9/7(土)	市川健夫(当館学芸員)	19
合計		66

発掘調査現地説明会

実施	内容	講師	参加者(人)
7/20(土)	新田城跡	上ノ山拓己(当館学芸員)	35
8/17(土)	一王寺遺跡	横山寛剛(当館学芸員)	26
合 計			61

特別展考古学講座

実施	内 容	講 師	参加者(人)
8/24(土)	世界に羽ばたく“JOMON”の価値と意義	青野友哉氏(東北芸術工科大学 歴史遺産学科 准教授)	73
合 計			73

縄文の布を編む講座

実施	内 容	講 師	参加者(人)
9/7(土)	解説「縄文の布について」	佐藤ちひろ(当館学芸員)	12
	実習「縄文の布を編む」	縄文是川ボランティア	
合 計			12

縄文土器作り講座

実施	内 容	講 師	参加者(人)
10/19(土)	素地土作り	佐藤ちひろ・山田貴博(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	10
10/26(土)	縄文土器作り(成形作業)	佐藤ちひろ(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	8
3/28(土)	縄文土器野焼き	山田貴博(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	15
合 計			33

企画展ギャラリートーク(展示解説)

実施	講 師	参加者(人)
10/5(土)	山田貴博(当館学芸員)	5
10/12(土)	山田貴博(当館学芸員)	7
10/19(土)	山田貴博(当館学芸員)	8
10/26(土)	市川健夫(当館学芸員)	1
11/2(土)	山田貴博(当館学芸員)	3
11/9(土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	9
11/16(土)	山田貴博(当館学芸員)	1
11/23(土)	山田貴博(当館学芸員)	3
合 計		37

企画展考古学講座

実施	内容	講師	参加者(人)
11/2(土)	縄文時代の木材利用 ～ヒスイを運んだ丸木舟と三内丸山のクリ～	荒川隆史氏 (公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 普及・資料課 課長代理)	48
合 計			48

遺跡調査報告会

実施	内 容	講 師	参加者(人)
11/9(土)	一王寺遺跡	横山寛剛(当館学芸員)	70
	松ヶ崎遺跡	宇庭瑞穂(当館学芸員)	
	新田城跡	上ノ山拓己(当館学芸員)	
	猪ノ鼻(1)遺跡	木村高(青森県埋蔵文化財調査センター 文化財保護主幹)	
合 計			70

サポートスタッフ研修会(5～6月)

実施	内 容	講 師	参加者(人)
5/18(土)	オリエンテーション	佐藤ちひろ(当館学芸員)	19
5/25(土)	是川遺跡と風張1遺跡について	市川健夫(当館学芸員)	21
6/8(土)	是川縄文館常設展示解説	佐藤ちひろ(当館学芸員)	14
6/22(土)	是川遺跡・縄文学習館のガイドについて	佐藤ちひろ(当館学芸員)	15
6/28(金)	博物館研修(秋田県北秋田市・鹿角市方面)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	18
6/29(土)	縄文土偶作り実習	佐藤ちひろ(当館学芸員)	12
合 計			99

サポートスタッフ研修会(1～2月)

実施	内 容	講 師	参加者(人)
1/25(土)	オリエンテーション	佐藤ちひろ(当館学芸員)	26
2/1(土)	縄文土器作り実習	佐藤ちひろ(当館学芸員)	16
2/15(土)	北海道・北東北の縄文遺跡群における晩期の遺跡	工藤竹久氏(青森県文化財保護審議会 委員)	25
2/22(土)	AED講習	八戸消防署 救急隊	7
2/28(金)	博物館研修(岩手県八幡平市、青森県五戸町・おいらせ町)	佐藤ちひろ・山田貴博(当館学芸員)	※中止
2/29(土)	観光ガイドとしての心構え	坂本清雪氏(津軽半島観光アテンダント)	※中止
合 計			74

※2/28・2/29：新型コロナウイルス感染症対策のため中止

日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
夏季前期：4/7(日)～7/14(日) 15回	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り 勾玉作り・文様拓本・縄文の布を編む	258
夏季後期：8/25(日)～10/27(日) 10回		134
冬 季：11/3(日)～※2/23(日) 16回		196
合 計		588

※3/1～新型コロナウイルス感染症対策のため中止

夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
7/20(土)～ 8/11(日) 8回	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り・滑石勾玉作り・ 文様拓本・縄文の布を編む	271
合 計		271

これかわ縄文まつり体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
8/18(日)	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製ペンダント作り・縄文の布を編む	364
合 計		364

土曜体験教室

実施	内 容	講 師	参加者(人)
5/4(土)	滑石でペンダント作り教室	佐藤ちひろ(当館学芸員)・山田貴博(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	16
7/6(土)	合掌土偶作り教室	佐藤ちひろ(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	19
9/14(土)	シカの角でペンダント作り教室	佐藤ちひろ(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	11
11/16(土)	トチの実で縄文 cooking	佐藤ちひろ(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	26
1/11(土)	縄文土器の拓本作り教室	佐藤ちひろ(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	5
3/7(土)	縄文土偶作り教室		※中止
合 計			77

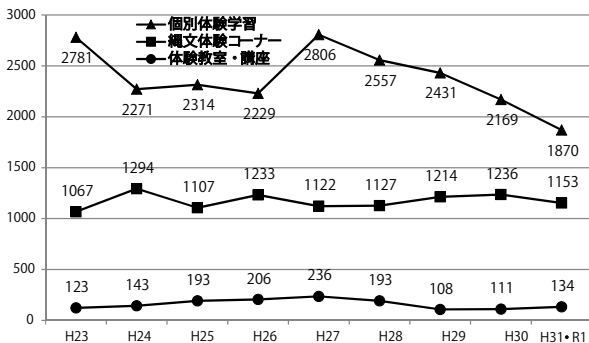
※ 3/7：新型コロナウイルス感染症対策のため中止

学芸員による講話

実施	内 容	団体・場所	参加者(人)
5/9(木)	講話「縄文ー持続可能な社会」	全国専門学校教育研究会 (於：東京ガーデンパレス)	120
6/16(日)	講話「漆と縄文人」	第6回カリンバ講演会 (於：恵庭市民会館)	40
7/11(木)	講話「遺跡から見た八戸市の歴史」	八戸市総合教育センター (於：是川縄文館)	37
7/22(月)	講話「縄文の魅力と可能性」	TNB あおもり支部第34回講演会 (於：八戸パークホテル)	30
7/23(火)	講話「持続可能な社会の実現に向けてー縄文のゆたかな暮らしを現在につなぐー」	第14回持続可能性の視点からみた地域社会(於：八戸工業大学)	99
8/27(火)	講話「遺跡からみた八戸地域の古代」	鷗盟大学歴史講座 (於：八戸市総合福祉会館)	65
9/2(月)	講話「中振軽石と円筒土器文化ー是川縄文館・東京大学大学院共同研究の成果」	潮風アウトドアガイド協会 (於：是川縄文館)	3
9/6(金)	講話「北の縄文世界」	鷗盟大学(於：是川縄文館)	73
11/19(火)	講話「縄文時代の生活様式と文化」	ビジネスサークル (於：八戸プラザホテル)	15
11/30(土)	面接授業「是川遺跡からわかる縄文文化」	放送大学八戸サテライトスペース (於：是川縄文館)	27
12/1(日)	面接授業「是川遺跡からわかる縄文文化」	放送大学八戸サテライトスペース (於：是川縄文館)	26
12/8(日)	パネルディスカッション「是川遺跡の魅力をみんなで発信しよう」	縄文案内人フォーラム (於：八戸市総合福祉会館)	4
12/14(土)	講話「館地区の遺跡」	館公民館講座 (於：八戸市立館公民館)	24
1/15(水)	講話「縄文遺跡と世界遺産」	八戸東高校父母と教師の会 読書会 (於：八戸パークホテル)	35
1/28(火)	講話「縄文と是川遺跡」	ふるさとの味倶楽部新年会(於：萬麟)	25
合 計			623

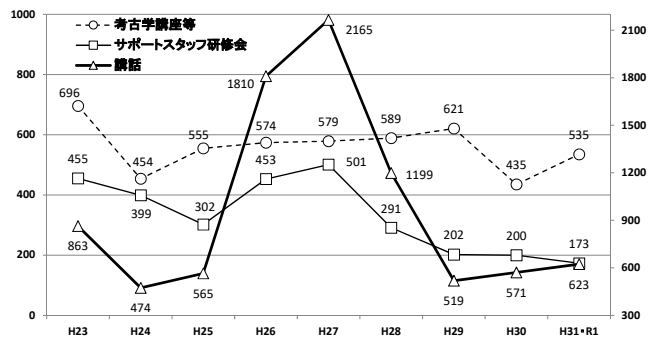
ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち実際の体験参加者数を記載する

月日	体験内容	団体名	参加者	月日	体験内容	団体名	参加者
4/17	火起こし	八戸市立鳥守小学校 6 学年	9	9/4	滑石の勾玉作り	青森県立八戸東高等学校 1, 2 学年	25
5/9	滑石の勾玉作り	こども支援センター	5	9/5	滑石の勾玉作り	小中野公民館 (於: 小中野公民館)	29
5/14	縄文土器作り	八戸市立鯨中学校 1 学年	50	9/6	縄文土器作り	八戸市立明治中学校 1 学年	20
5/16	滑石の勾玉作り	六ヶ所村立南小学校 6 学年	10	9/10	縄文土器作り	個人体験学習	2
5/30	滑石の勾玉作り	階上町立赤保内小学校 6 学年	30	9/12	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 2 学年	31
5/31	縄文土器作り	八戸市立湊小学校 6 学年	50	9/13	縄文土器作り	八戸市立根城小学校 6 学年	80
6/3	滑石の勾玉作り	八戸市立白銀南小学校 6 学年	78	9/18	縄文土器作り	八戸市立三条小学校 6 学年	43
6/3	滑石の勾玉作り	八戸市立桔梗野小学校 6 学年	38	9/18	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 4 学年 (出前)	1
6/11	縄文土器作り	階上町立階上小学校	8	9/21	縄文土器作り	個人体験学習	2
6/12	縄文土器作り	八戸市立城下小学校 6 学年	33	9/23	土器の文様拓本	個人体験学習	2
6/14	滑石の勾玉作り	おいらせ町立百石小学校 6 学年	44	9/27	縄文土器作り	青森県老人クラブ連合会	26
6/18	縄文土器作り	新郷村立戸来小学校 6 学年	11	10/13	滑石の勾玉作り	わくわくフェスタ 2019 (於: 八食センター)	73
6/21	滑石の勾玉作り	田子町立田子小学校 6 学年	29	〃	縄文の布を編む	わくわくフェスタ 2019 (於: 八食センター)	8
6/26	縄文土器作り	南部町立剣吉小学校 6 学年	15	10/14	滑石の勾玉作り	わくわくフェスタ 2019 (於: 八食センター)	88
7/4	合掌土器作り	八戸市立中居林小学校 6 学年	48	〃	縄文の布を編む	わくわくフェスタ 2019 (於: 八食センター)	20
7/7	滑石の勾玉作り	あおもり JOMON フェスタ (於: イオンモール下田)	71	10/25	テラコッタ野焼き	是川中学校	107
7/9	滑石の勾玉作り	八戸市立江陽小学校 6 学年	35	10/31	滑石の勾玉作り	新郷村立西越小学校 5 学年	4
7/10	滑石の勾玉作り	階上町立石鉢小学校 6 学年	40	11/15	滑石の勾玉作り	八戸市立長者小学校 6 学年	56
7/11	合掌土器作り	初任者研修	34	11/15	火起こし	八戸市立美保野小学校	8
7/12	縄文土器作り	八戸市立吹上小学校 6 学年	78	11/19	滑石の勾玉作り	八戸市立柏崎小学校 6 学年	103
7/18	滑石の勾玉作り	青森県立八戸中央高等学校 3, 4 学年	53	11/21	板状土器作り	八戸市立是川小学校 2 学年	9
7/26	縄文土器作り	個人体験学習	2	11/28	滑石の勾玉作り	八戸市立桔梗野小学校 5 学年	12
〃	滑石の勾玉作り	六戸町教育課	29	〃	火起こし	八戸市立桔梗野小学校 5 学年	11
8/7	滑石の勾玉作り	個人体験学習	4	11/30	縄文土器作り	放送大学八戸サテライトスペース	27
8/17	縄文土器作り	八戸市博物館 (実習生)	6	12/3	滑石の勾玉作り	階上町立道仏小学校 6 学年	16
〃	土製のペンダント作り	八戸市博物館 (実習生)	4	12/3	滑石の勾玉作り	個人体験学習	1
〃	火起こし	八戸市博物館 (実習生)	1	12/14	滑石の勾玉作り	わんぱく王国 (於: ハートフルプラザはしかみ)	6
8/20	縄文土器作り	八戸市立明治中学校 (下見)	2	12/20	滑石の勾玉作り	八戸市立多賀台小学校 6 学年	30
8/21	縄文土器作り	八戸市立大久喜小学校 5, 6 学年	14	12/26	琥珀の勾玉作り・滑石の勾玉作り	個人体験学習	2
8/27	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 3 学年	25	1/15	火起こし	有限会社サウンドクリエイト	2
8/28	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 4 学年	19	1/28	火起こし・編布	個人体験学習	4
8/29	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 5 学年	28	2/7	火起こし	五戸町立五戸小学校	58
8/30	土製ペンダント作り	八戸市立是川小学校 1 学年	19	2/11	火起こし	青森県誘客交流課	3
9/3	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 6 学年	36	2/17	火起こし	かがり火えんぶり点火式 (於: 市長前広場)	3
合 計							1,870



過去9年間の体験学習の利用者推移

※平成23年度は7月からスタート
 ※令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策のため3月の体験受入を中止



過去9年間の講演会等の利用者推移

※平成23年度は開館記念講演会等を含む
 ※サポートスタッフ研修会は平成28年度から開催回数減となっている。令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策のため一部中止とした。

4. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）

平成27年度から八戸市教育委員会を中心に開始した連携事業。

「発見！ふるさと体験隊」（はっふる隊）という名称のもと、八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）の小学校に年1回、貸切バスを無償で活用できるようにし、圏域内の文化・スポーツ施設での学外研修を支援する取り組みである。当館においても市内小学校を含め、圏域内の小学校から体験学習・展示見学で多く活用されるようになった。

平成31・令和元年度は、八戸市内7校399人、市外8校242人、計641人の児童の体験学習指導、展示解説に対応した。引率者を含めた利用者総数は689人である。利用された19施設のうち5番目に利用者が多く、全体（8,353人）の8.2%を占めた。

月 日	学校名	内 容	人数(人)
5月20日	階上町立赤保内小学校6年生	見学・体験	30
6月11日	階上町立階上小学校4,5,6年生	見学・体験	18
6月14日	おいらせ町立百石小学校6年生	見学・体験	44
6月21日	田子町立田子小学校6年生	見学・体験	26
6月26日	南部町立剣吉小学校6年生	見学・体験	15
7月10日	階上町立石鉢小学校6年生	見学・体験	40
7月12日	八戸市立吹上小学校6年生	見学・体験	77
9月13日	八戸市立根城小学校6年生	見学・体験	84
9月18日	八戸市立三条小学校6年生	見学・体験	44
11月15日	八戸市立美保野小学校1,3,4,6年生	見学・体験	8
11月15日	八戸市立長者小学校6年生	見学・体験	56
11月19日	八戸市立柏崎小学校6年生	見学・体験	102
12月3日	階上町立道仏小学校6年生	見学・体験	14
12月20日	八戸市立多賀台小学校6年生	見学・体験	28
2月7日	五戸町立五戸小学校5年生	見学・体験	58
計 15校 641人			

平成31・令和元年度はっふる隊実績

5. 地域連携

○是川縄文隊との連携

是川縄文隊は、是川地域の宝である是川遺跡の保存や活用に寄与し、是川縄文館を核とした「是川縄文の里」の地域振興を図ることを目的として、是川地区の中居町内会の有志により平成24年度に設立された。活動等はVII-4是川縄文隊に記載している。

これまで、是川縄文館や毎年8月に開催される「これかわ縄文まつり」のPRのほか、地域振興の一環として、来館者へ周辺ガイドマップを配布するほか、是川産直野菜を販売するなどの活動を行っており、是川遺跡の情報発信や、来館される方がたへのおもてなしの充実が図られた。

○放送大学との連携

放送大学が教育課程にもとづき、学習センター・サテライトスペースが所在する地域の大学等の機関と連携して、実地での面接授業を行う事業。

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペースとの連携により、是川遺跡及び是川縄文館を活用した2日間計8回にわたる面接授業を開講している。講義には、全国からは川遺跡や是川縄文館に関心をもつ受講生27人が集まり、好評であった。

・講義内容

科目名：「是川遺跡からわかる縄文文化」（全8回）

- 第1回「考古学研究の歴史と方法」
- 第2回「是川遺跡見学」
- 第3回「是川遺跡の研究史とその成果」
- 第4回「縄文土器作り実習」
- 第5回「縄文時代の漆利用」
- 第6回「是川遺跡出土品からみた縄文工芸」
- 第7回「東北地方における縄文時代晩期の文化と社会」
- 第8回「世界遺産登録と「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値」

日 時：12月1日(土) 10:00～17:10（第1回-第4回）・12月2日(日) 10:00～17:10（第5回-第8回）

会 場：是川縄文館 2F企画展示室

講 師：小久保 拓也・市川 健夫(当館学芸員)



放送大学面接授業

○市内中学校「さわやか八戸グッジョブウィーク」との連携

八戸市教育委員会を中心とした市内公立中学校の2年生を対象に実施している職場体験事業。是川縄文館では、中学生からの受入要望があった際にはできる限り応じ、学芸員としての業務の体験を実施している。

令和元年度は1校2名の生徒を受け入れ、学芸業務の基本となる出土品整理を実施するとともに、学芸員という職種に関するインタビューに応じた。

○高校等との連携

・高校生縄文案内人養成事業への協力

青森県教育庁文化財保護課主催事業への協力。高校生を対象に、「北海道・北東北の縄文遺跡群」をはじめとする県内文化財の価値や魅力に関する講座、ガイド等の体験活動を実施するとともに、遺跡活用団体や地域住民との連携を通して、将来、文化財の保存と活用に携わることができる人財育成につなげることを目的としている。八戸市では青森県立八戸商業高等学校3年生5名が参加し、当館では学芸員による講義及び縄文是川ボランティアによるガイド指導協力等を行った。

①案内人養成講座

日時：7月7日(日) 13:00～16:00

会場：八戸市公民館

内容：八戸の文化財や縄文遺跡群に関する講義

②案内人ガイド体験

日時：8月2日(金)～4日(日) 9:30～15:30

会場：是川遺跡・当館

内容：遺跡見学・講義、ガイド研修・ガイド体験

③縄文案内人フォーラム

日時：12月8日(日) 13:00～15:50

会場：八戸市総合福祉会館

内容：構成資産の現状及び活用に関する講演
高校生案内人による遺跡活用の発表
パネルディスカッション

・八戸商業高等学校3年生研究課題への協力

八戸商業高等学校の事業への協力。生徒が自ら課題を定めて取り組むグループ課題において、縄文文化をテーマにした生徒らへ指導等を行ったほか、同グループが若年層へ縄文の魅力を発信するために製作した「合格祈願絵馬」、「縄文すごろく」へ当館マスコットキャラクター「いのるん」の画像を提供した。

①合格祈願絵馬

「いのるん」がデザインされた合格祈願絵馬。市内の櫛引八幡宮にて100体販売された。絵馬の製作過程は、「縄文案内人フォーラム」でも発表されている。

②縄文すごろく

遊びながら縄文時代の生活を学習できるすごろく。10月に実施された同高校のバザーで販売された。

○市民団体との連携

これかわ縄文まつりにおいて、「こどもはっち」による幼児をメインターゲットとした「いのるんとじゃんけんぽん!」と「ちびっこお楽しみ工作」が行われた。

「いのるんとじゃんけんぽん!」では、こどもたちがいのるんに1対1の勝負をいどみ、見事勝ったこどもにはプレゼントが贈られた。



高校生案内人養成講座



高校生案内人によるガイド活動



いのるんとじゃんけんぽん!のようす

6. 世界遺産登録へ向けた取り組み

○世界遺産登録へ向けた活動

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指している。当市の構成資産は、史跡是川石器時代遺跡である。

直近での推薦・登録を目指し、世界遺産登録推進会議・専門家委員会・担当者会議などで推薦書案や包括的保存管理体制、遺産影響評価などの検討・協議を行っている。

また、世界遺産への登録実現には、市民の理解が不可欠であり、縄文遺跡群を紹介するパネル展開催や、登録推進フォーラム・あおもりJOMONフェスタへの協力、ロゴマークの活用などを行い、PRに努めている。

令和元年度は、縄文の世界的価値や登録への取り組みなどを紹介する考古学講座を6回開催するとともに(→p11)、特別展では「北の縄文世界-北海道・北東北の縄文遺跡群-」を開催したほか(→p7)、市広報誌面に特集記事・連載記事を掲載し、登録実現に向けた積極的な気運醸成を図った。

縄文遺跡群は、令和元年7月にユネスコへの次期国内推薦候補に選定され、12月には閣議了解により推薦が決定し、令和2年1月には国からユネスコ世界遺産センターへ推薦書が提出された。市民と祝うための懸垂幕や看板、のぼりを八戸市庁や市内文化施設等に設置した。

○縄文遺跡群パネル展

- 期間 ①5月11日(土)～8月17日(土)
 ②8月18日(日)～10月12日(木)
 ③10月13日(日)～10月14日(月)
 ④12月20日(土)～

場所 ①・④是川縄文館 ②是川縄文館分館(縄文学習館) ③八食わくわくフェスタ(八食センター)

概要 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の概要、各構成資産の紹介に関するA1版パネルを掲示した。
 ③は体験学習とともに取り組んだ。



考古学講座(後期日程)チラシ



懸垂幕の設置(八戸市庁)



考古学講座(第1回講師 根岸 洋先生)



あおもりJOMONフェスタでの勾玉づくり体験

7. 調査研究

(1) 共同研究

【第3期共同研究】

是川縄文館では、調査研究を主たる事業として掲げ、大学等の研究機関との共同研究事業を推進している。

共同研究により蓄積された質の高い成果を、館事業で公開活用することを目的としている。

第1・2期共同研究では、縄文時代における環境と人の関わりについて研究を進め、その成果を通して、環境変動に適応してきた縄文人による、文化の形成や変遷の解明が課題として認識された。八戸地域は、先史時代から物流などの拠点であり、さまざまな物資・情報が集まる地域である。ほかの地域の文化要素があいまって豊かな文化を育んできたことが想定される。

この課題に取り組む上で、近年、土器の胎土に含まれる火山ガラスの分析・研究が注目されている。この研究を主導する弘前大学大学院と協議を行い、平成30年度から共同研究を推進することとした。

令和元年度は、縄文時代後期から弥生時代の土器を中心に、分析サンプル抽出と採取及び火山ガラス分析を継続した。第1年次・2年次の分析成果をもとに、縄文時代から平安時代における青森県南部地方の土器胎土の変遷と、器種による胎土の使い分けについて基礎的分析を行い、その成果を研究紀要第9号に掲載した。

○共同研究テーマ

『火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明』

火山列島である我が国から出土する縄文土器には、火山ガラスが豊富に含まれている。火山ガラスは、噴出源の火山によって化学組成が異なっており、同じ火山でも噴火時期によって産状に違いがみられる。こうした特徴を活かして分析することで、土器の製作地域を特定することが可能となり、土器の搬入や搬出、模倣製作などの実態を明らかにすることができる。また、火山の噴出時期の年代がこれまでの研究によって蓄積されていることから、火山ガラスの違いによって土器の移り変わりを明らかにすることができる。

本共同研究では、こうした分析から土器の移り変わりと、他地域からの文化要素の抽出の精緻化を進め、八戸地域における先史時代文化の形成・変遷の解明を試みる。

○研究期間

2019年4月～2020年3月（2018年～2021年度の4ヵ年計画の2年目）

○研究体制

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

弘前大学大学院人文社会科学部研究科（関根 達人 教授）

弘前大学大学院理工学研究科（柴 正敏 客員研究員・近藤 美左紀 氏）

○研究活動等

- ・火山ガラス分析用試料の検討及び抽出
- ・八戸市内の遺跡から出土した土器（縄文時代後期～弥生時代）112点の火山ガラス観察及び82点のサンプル採取
- ・火山ガラス分析

○研究成果

- ・八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要 第9号
「火山ガラス分析を用いた南部地方の土器の胎土に関する基礎的研究」
（関根達人・近藤美左紀・柴正敏）

(2) 学芸員の研究等業績：平成31年4月～令和2年3月

【論文等】

令和元年9月

市川健夫『令和元年度 特別展図録 北の縄文世界 - 北海道・北東北の縄文遺跡群 -』八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

宇部則保「本州北縁地域の蝦夷社会とその暮らし」東北歴史博物館特別展図録『蝦夷 - 古代エミシと律令国家 -』東北歴史博物館

令和元年11月

横山寛剛「一王寺遺跡」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 令和元年度遺跡調査報告会』

宇庭瑞穂「松ヶ崎遺跡」同上

上ノ山拓己「新田城跡」同上

小久保拓也・山田貴博『令和元年度 秋季企画展図録 山のいとなみ』八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

令和元年12月

宇部則保「東北北部型土師器と赤彩」『蝦夷の赤い土器』埋蔵文化財講座資料 滝沢市埋蔵文化財センター

小久保拓也「青森県における縄文時代墓の諸様相」『列島における縄文時代墓制の諸様相』第2回研究会基礎資料集 縄文時代文化研究会

横山寛剛「一王寺遺跡」『令和元年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会』

令和2年3月

宇部則保「青森県太平洋沿岸古代社会の成立」『東北太平洋沿岸地域の歴史学・考古学的総合研究 総括報告会資料集』明治大学日本古代学研究所

上ノ山拓己「中世から近世初頭にかけての新田城周辺の土地利用の推定」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』9 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

苧坪祐樹「八戸市内の近代遺構 - 防空壕跡 -」同上

小久保拓也「是川遺跡の土器と聖火筒」同上

【学会発表等】

令和元年5月

宇部則保「東北北部型土師器の成立」青森県考古学会春季大会

令和元年7月

小久保拓也「八戸の文化財」高校生縄文案内人

令和元年10月

小久保拓也「風張と是川の縄文ムラとまつり」弘前市縄文シンポジウム

宇部則保「本州北縁地域の蝦夷社会とその暮らし」東北歴史博物館特別展「蝦夷 - 古代エミシと律令国家 -」関連事業

令和元年11月

横山寛剛「一王寺遺跡」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 令和元年度遺跡調査報告会』

宇庭瑞穂「松ヶ崎遺跡」同上

上ノ山拓己「新田城跡」同上

小久保拓也「合掌土偶、大活躍です」笹山遺跡国宝指定20周年記念シンポジウム 縄文の国宝

令和元年11月・12月

小久保拓也「縄文の笑い」はっち市2019 ちっちゃな街のまなびや

市川健夫「考古学研究の歴史と方法」・「是川遺跡見学」・「縄文土器作り実習」・「是川遺跡出土品からみた縄文工芸」・「東北地方における縄文時代晩期の文化と社会」『令和元年度第2学期放送大学面接授業 是川遺跡からわかる縄文文化』

小久保拓也「是川遺跡見学」・「是川遺跡の研究史とその成果」・「縄文時代の漆利用」・「是川遺跡出土品からみた縄文工芸」・「世界遺産登録と「北海道・北東北の縄文遺跡群」」 同上

横山寛剛「一王寺遺跡」『令和元年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会』

宇部則保「東北北部型土師器と赤彩」『蝦夷の赤い土器』滝沢市埋蔵文化財センター文化財講座

【教育】

令和元年5月

小久保拓也「縄文一持続可能な社会」アレック専門学校（再掲）

令和元年7月

小久保拓也「持続可能な地域社会の実現に向けて - 縄文のゆたかな暮らしを現在につなぐ -」八戸工業大学地域学14（再掲）

令和元年8月

宇部則保「遺跡からみた八戸地方の古代」八戸市鷗盟大学歴史講座（再掲）

令和元年11月

小久保拓也・市川健夫 放送大学 非常勤講師（面接授業担当）（再掲）

令和元年12月

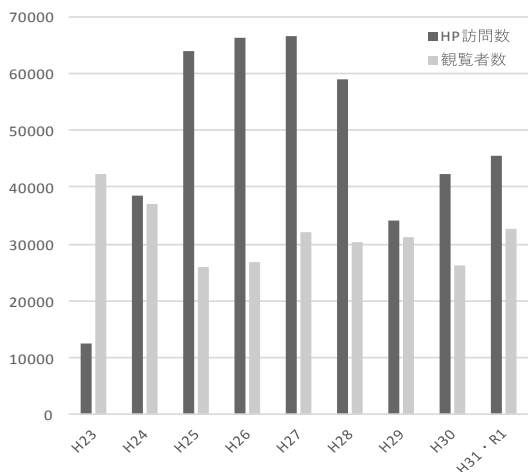
小久保拓也「是川遺跡」高校生縄文案内人

8. 広報・情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

①ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を使用し、管理を外部委託している。ホームページ訪問者数は前年より増加し、1日あたりの平均訪問者数は124.3人（平成31年4月～令和2年3月まで）であった。



ホームページ訪問者数と更新回数

月	HP 訪問数	観覧者数	更新回数	平均 (日)	英語版 HP
4	3,931	2,161	10	131.0	192
5	4,932	4,088	6	159.1	200
6	3,740	3,024	7	124.7	194
7	4,243	3,234	14	136.9	185
8	5,064	7,028	13	163.4	263
9	3,412	3,404	1	113.7	190
10	3,000	2,050	4	96.8	75
11	3,622	2,975	4	120.7	139
12	4,052	1,048	6	130.7	136
1	3,482	1,571	4	112.3	188
2	2,858	1,400	4	98.6	135
3	3,145	579	3	101.5	143
計	45,481	32,562	76	124.3	2,040

②広報はちのへ「いのるん通信」

是川縄文館の体験学習や発掘調査などの活動について、参加者にインタビューし、内容を紹介する連載記事。市広報誌「広報はちのへ」において隔月連載（5・7・9・11・1・3月号）。97,800部発行。

今年度は世界遺産登録のPRを目的とし、以下の内容を連載した。

- 5月号：第37回
「世界遺産のこと知ってる!？」
- 7月号：第38回
「世界遺産になるためには？」
- 9月号：第39回
「縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」とは？」
- 11月号：第40回
「ここがすごい!北海道・北東北の縄文遺跡群」
- 1月号：第41回
「是川石器時代遺跡の魅力を紹介!」
- 3月号：第42回「日本と世界遺産」

③新聞記事

企画展・特別展をテーマとした連載記事を職員などが作成し、開催期間に合わせてデーリー東北新聞に掲載した。

- 春季企画展 5/17,24,6/7 の3回
- 特別展 8/2,9,16,23,30 の5回
- 秋季企画展 11/15,22 の2回



いのるん通信 (第41回)



企画展連載記事 (デーリー東北新聞)

④ 広告掲載

特別展・企画展開催を周知するため、地元新聞等に広告を掲載した。

- ・特別展「北の縄文世界 - 北海道・北東北の縄文遺跡群 -」

開催案内広告

デーリー東北新聞 (7/31 朝刊)、東奥日報 (7/12,31 朝刊)、
岩手日報・秋田魁新報 (7/12 朝刊)、情報羅針盤コンパス (7/4)、
縄文 ZINE 第 10 号 (7/13)

- ・秋季企画展「山のいとなみ」開催案内広告

デーリー東北新聞 (10/12 朝刊)、東奥日報 (7/12 朝刊)、
情報羅針盤コンパス (9/12)、縄文 ZINE 第 10 号 (7/13)

⑤ BeFM「施設ガイド」

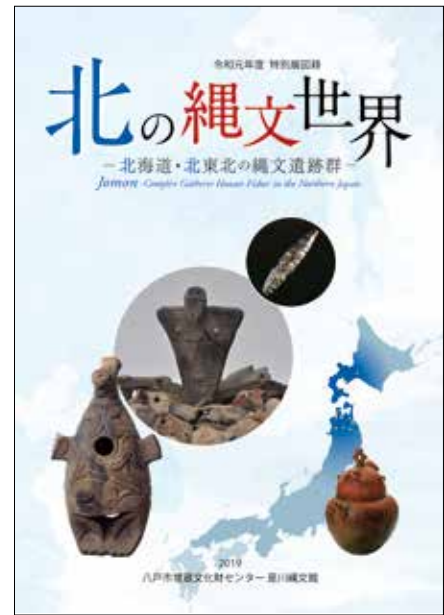
地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した (2ヶ月に1度)。

⑥ 図録等刊行

研究紀要のほか、特別展・企画展の図録等を下記のとおり刊行した。

図録は館内ミュージアムショップで頒布している。

- ・「掘り day はちのへ - 八戸市埋蔵文化財ニュース -」22号 A4 版カラー 8 ページ
- ・特別展図録「北の縄文世界 - 北海道・北東北の縄文遺跡群 -」A4 版カラー 106 ページ
- ・企画展図録「山のいとなみ」A4 版カラー 52 ページ
- ・「研究紀要」第8号 A4 版モノクロ 38 ページ



特別展図録「北の縄文世界 - 北海道・北東北の縄文遺跡群 -」

9. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

① ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリー、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。是川が柿の里であることから、昨年度に引き続き冬季限定で干し柿の販売を行った。

【商品一例】ポストカード、マグカップ、キーホルダー、ストラップ、Tシャツ、当館キャラクター「いのるん」グッズ、土偶及び土器などのレプリカ、お菓子 (クッキー、人形焼、せんべいなど)、当館刊行物、考古学関連書籍等。



ミュージアムショップ

② 喫茶コーナー

古代米を使用した「縄文カレー」や縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、クルミをトッピングした「縄文ソフトクリーム」などを提供している。

「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。



オリジナルグッズ (ピンバッジ)

IV 埋蔵文化財調査等

1. 発掘調査事業概要

八戸市には、489か所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在する。遺跡内で開発行為を行う場合、文化財保護法93条（国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同94条）が適用され、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、工事着手の60日前までに遺跡内の工事に係る届出（通知）書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、まず遺跡の現状を把握し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘調査の結果、開発行為により遺跡が破壊されると判断した場合、本発掘調査により遺跡を記録保存するなどの保護処置をとっている。

また、開発行為が行われる対象地が遺跡の範囲外であっても、遺跡に隣接する場合または掘削が広範囲に及ぶ場合は文化財保護法99条に基づき、遺跡の範囲確認のための試掘調査（範囲確認調査）を行うことがある。調査の結果、開発対象地で遺構・遺物が発見された場合、遺跡の範囲変更または新規の遺跡登録を行っている。

ただし、開発行為による掘削範囲が狭小であり、地下への影響が軽微であると判断される場合、事前の試掘調査を行わず、工事立会で対応する場合がある。

八戸市内には長七谷地貝塚・是川石器時代遺跡・丹後平古墳群・根城跡の4か所の国指定史跡がある。開発行為がこれら指定地内で行われる場合、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。申請を受け、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、開発行為による史跡指定地の地下遺構への影響を判断するため、遺構の有無や遺構検出面までの堆積状況を把握するための確認調査を行っている。なお、史跡指定地内においては軽微な開発行為であっても、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。

(1) 平成31・令和元年度の発掘調査

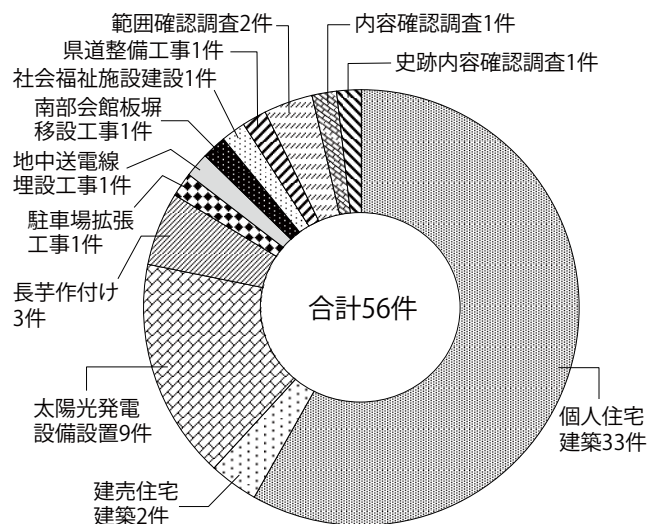
平成31・令和元年度は、24か所の遺跡で計56件の発掘調査を実施した。調査種類の内訳は試掘調査37件、本発掘調査17件（試掘後の本調査を含む）、重要遺跡の内容確認調査2件である。

調査原因の種類別では、個人住宅建築33件、太陽光発電設備設置9件、長芋作付け3件、範囲内

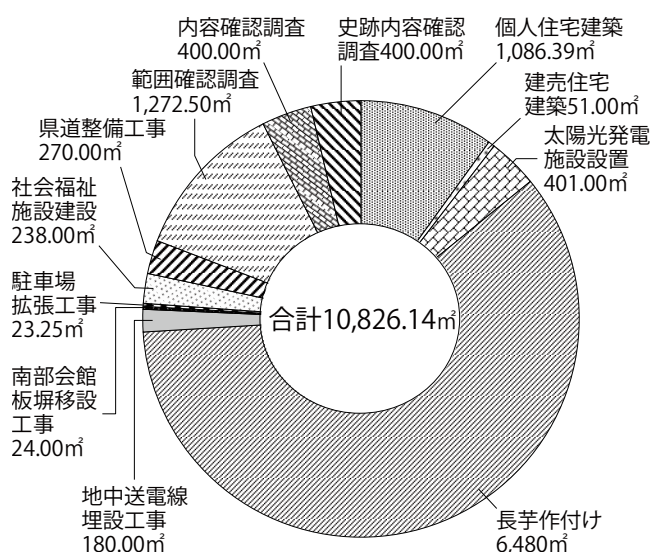
容確認調査4件、建売住宅建築2件、その他駐車場拡張工事・地中送電線埋設工事・南部会館板塀移設工事・社会福祉施設建設・県道整備工事が各1件である。

発掘調査の件数は、個人住宅建築に伴うものが最も多く、全体の59%を占める。太陽光発電設置がそれに次ぎ16%で、個人住宅建築と合わせると全件数の約4分の3に及ぶ。この傾向は平成30年度までよりさらに強まった。

調査面積では長芋作付けに伴うものが最も多く、個人住宅建築がこれに次ぐ。長芋作付けは近年増加傾向にあるが、本年度は約6割を占めるまでになった。



平成31・令和元年度調査原因ごとの発掘件数内訳



平成31・令和元年度調査原因ごとの調査面積内訳

(2) 過年度との比較

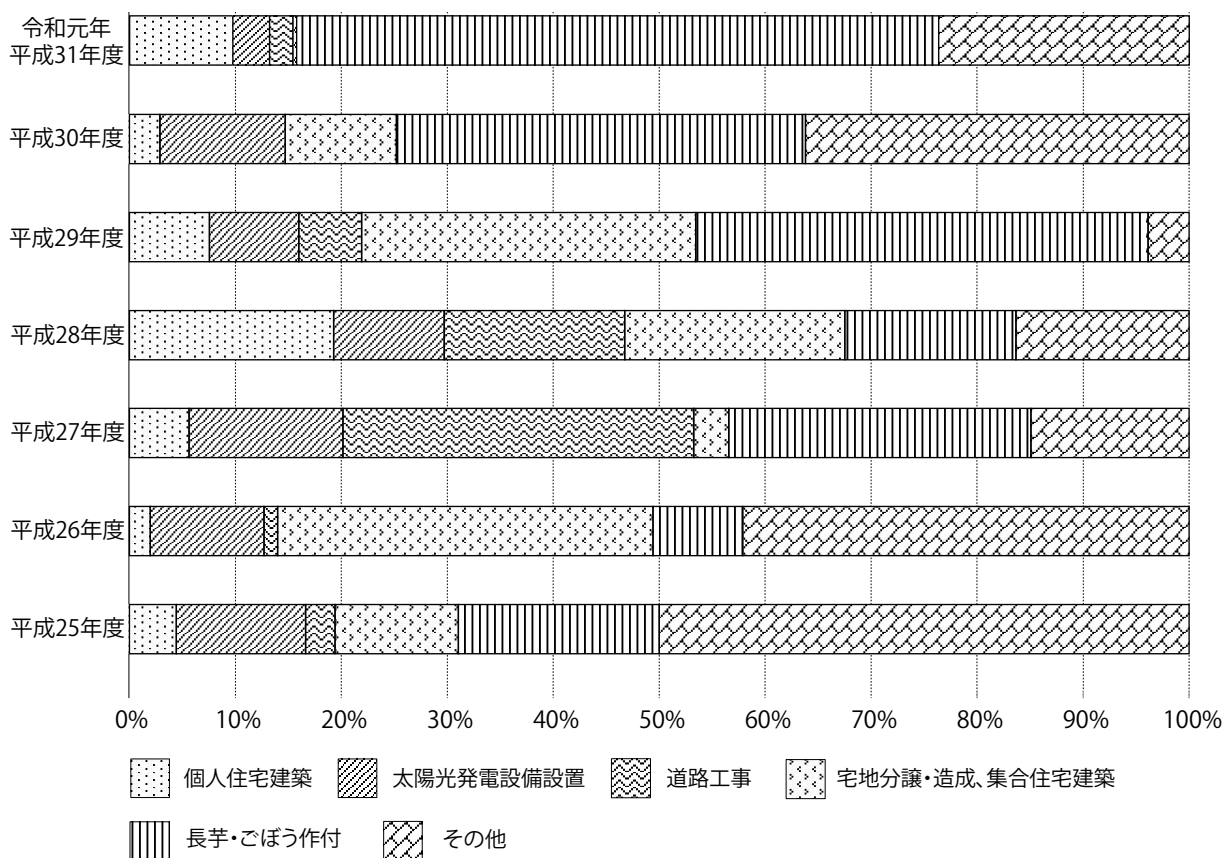
平成 31・令和元年度の調査件数は平成 30 年度とほぼ同様であるが、調査面積は大幅増となった平成 30 年度よりさらに増加した。その原因は、2,000㎡を超える大規模な長芋作付けに伴う調査が複数行われたことと、個人住宅建築に伴う調査が増えたことによる。

平成 28 年度から 30 年度にかけて雷遺跡の調査件数が 4 件から 8 件に急増し、平成 31・令和元年度も 6 件と引き続き多かった。そのほか調査件数が多い遺跡は田面木遺跡 15 件、八戸城跡 5 件、石橋遺跡 4 件となっており、調査が特定の遺跡に集中する傾向が本年度もみられた。

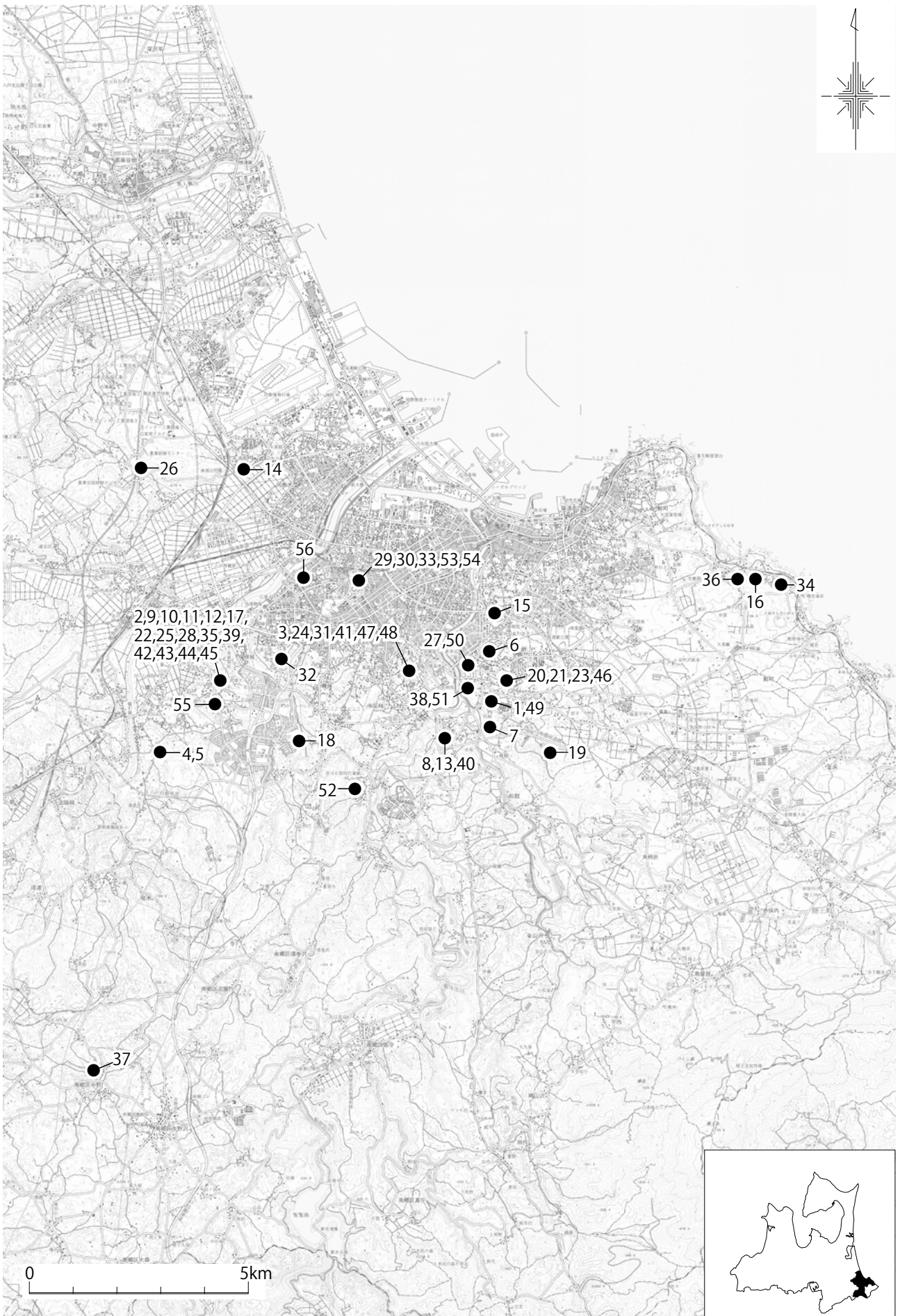
そのほか、本格的な調査が初めて行われた中野 (2) 遺跡の調査は、南郷地区で当市が行った本調査としては、平成 24 年度の田代遺跡以来 7 年ぶりの調査であった。

調査原因	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31・令和元年度	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
個人住宅建築	26	1,304.92	15	294.75	21	624.58	27	953.50	21	391.9	21	277.55	33	1,086.39
太陽光発電設備設置	3	3,604.00	8	1,610.50	9	1,616.45	10	517.64	3	438.00	10	1,145.50	9	401.00
道路工事	4	822.00	5	192.30	4	3,679.00	4	842.30	1	307.60	0	0	1	270.00
宅地分譲・造成、集合住宅建築	4	3,431.50	8	5,308.50	2	366.76	5	1,028.50	2	1,636.00	4	1,010.00	3	51.00
長芋・ごぼう作付	0	5,599.65	2	1,270.00	2	3,170.00	1	800.00	2	2,215.00	7	3,721.60	8	6,480.00
その他	17	14,762.07	10	6,315.20	9	1,660.50	12	808.60	9	200.75	13	3,490.525	3	2,537.75
合計	54	29,524.14	48	14,991.25	47	11,117.29	59	4,950.54	38	5,189.25	55	9,645.175	56	10,826.14

平成 25 ～ 31・令和元年度の調査原因件数と調査面積の内訳



平成 25 ～ 31・令和元年度の調査原因ごとの調査面積の推移



IV 埋蔵文化財調査等

平成 31・令和元年度八戸市内発掘調査位置図 (S: 12 万分の 1)

No	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別/主な時代
1	市子林遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	平成 31年 4月 9日	5.00	集落跡・城館跡/縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
2	田面木遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	平成 31年 4月 10日	6.00	集落跡/縄文・奈良・平安
3	雷遺跡第 8・9 地点	試掘調査	範囲確認調査	平成 31年 4月 15～17日	150.00	散布地/平安・近世
4	櫛引遺跡第 10 地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 31年 4月 18日	60.00	集落跡・城館跡/縄文
5	櫛引遺跡第 11 地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 31年 4月 18日	38.00	集落跡・城館跡/古代
6	重地遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 31年 4月 23日	19.20	集落跡/縄文
7	丹内遺跡第 2 地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 31年 4月 24日～令和元年 5月 8日	100.00	集落跡/縄文
8	松ヶ崎遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 5月 8・9日	20.00	集落跡・貝塚/縄文・奈良・平安
9	田面木遺跡第 51・52・53・54 地点	試掘調査	建売住宅建築	令和元年 5月 20～22日	27.50	集落跡/奈良・平安・近世
10	田面木遺跡第 51 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 6月 10・11日	11.00	集落跡/奈良・平安
11	田面木遺跡第 52 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 6月 10・11日	18.00	集落跡/平安
12	田面木遺跡第 53 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 6月 10・11日	18.00	集落跡/平安・近世
13	松ヶ崎遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 6月 4日	8.00	集落跡・貝塚/縄文・奈良・平安
14	小館遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和元年 7月 1～3日	23.00	城館跡/中世
15	塩入遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 7月 2日	20.00	散布地/縄文・平安
16	舟渡ノ上遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和元年 7月 5～8日	9.00	散布地/縄文・平安
17	田面木遺跡第 55 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 7月 9・10日	20.00	集落跡/平安
18	丹後谷地 (3) 遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和元年 7月 9日	30.00	散布地/縄文・平安
19	蟹沢 (3) 遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和元年 7月 10日	7.00	散布地/縄文
20	石橋遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 7月 12日	8.00	集落跡/平安
21	石橋遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 8月 8日	4.00	集落跡/平安
22	田面木赤坂 (2) 遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和元年 9月 12～20日	24.00	散布地/縄文
23	石橋遺跡③	試掘調査	建売住宅建築	令和元年 9月 20日	23.50	集落跡/平安
24	雷遺跡第 10 地点	試掘調査	個人住宅及び車庫建築	令和元年 9月 25日	21.25	散布地/平安
25	田面木遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 10月 3日	5.00	集落跡/縄文・弥生・奈良・平安
26	八戸北インター第 2 工業団地開発予定地	試掘調査	範囲確認調査	令和元年 10月 17日～11月 29日	1,122.50	集落跡/縄文・古代
27	新井田古館遺跡第 32 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 10月 24～29日	32.00	集落跡/古代
28	田面木遺跡第 56 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 11月 18～20日	13.50	集落跡/平安
29	八戸城跡①	試掘調査	駐車場拡張工事	令和元年 11月 25～27日	23.25	城館跡/縄文・弥生・古墳・近世・近代
30	八戸城跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 11月 26日	21.00	城館跡/縄文・弥生・古墳・近世・近代
31	雷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 12月 6日	19.50	散布地/縄文・平安
32	鹿島沢古墳	試掘調査	個人住宅建築	令和 2年 1月 22日	15.00	古墳/縄文・奈良・平安
33	八戸城跡第 44 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和 2年 3月 11日	27.00	城郭/近世
34	中道遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和 2年 3月 18・19日	110.00	散布地/縄文
35	田面木遺跡③	試掘調査	個人住宅建築	令和 2年 3月 24・25日	15.00	集落跡/古代
36	小沢遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和 2年 3月 25日	24.00	散布地/縄文
37	中野 (2) 遺跡第 1 地点	本調査	個人住宅建築	平成 31年 4月 3～11日	54.00	散布地/古代・中世・近世
38	館平遺跡第 31 地点	本調査	個人住宅建築	平成 31年 4月 3～16日	94.50	集落跡・城館跡/平安
39	田面木遺跡第 50 地点	本調査	長芋作付け	令和元年 5月 15日～6月 28日	2,000.00	集落跡/縄文・弥生・奈良・平安・近世
40	松ヶ崎遺跡第 11 地点	本調査	長芋作付け	令和元年 5月 7日～6月 28日	2,250.00	集落跡・貝塚/縄文・奈良・平安
41	雷遺跡第 8 地点	本調査	個人住宅建築	令和元年 6月 3～14日	235.00	散布地/平安
42	田面木遺跡第 51 地点	本調査	個人住宅建築	令和元年 7月 16日～8月 9日	15.40	集落跡/奈良・平安
43	田面木遺跡第 52 地点	本調査	個人住宅建築	令和元年 7月 16日～8月 9日	64.18	集落跡/平安
44	田面木遺跡第 53 地点	本調査	個人住宅建築	令和元年 7月 16日～8月 9日	54.96	集落跡/平安・近世
45	田面木遺跡第 55 地点	本調査	個人住宅建築	令和元年 7月 11日	29.90	集落跡/平安
46	石橋遺跡第 12 地点	本調査	長芋作付け	令和元年 7月 29日～10月 17日	2,230.00	集落跡/古代・近世
47	雷遺跡第 9 地点	本調査	個人住宅建築	令和元年 9月 2～10日	44.00	集落跡/近世
48	雷遺跡第 10 地点	本調査	個人住宅建築	令和元年 10月 10～18日	35.00	集落跡/平安
49	市子林遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和元年 11月 20日	7.00	集落跡/縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
50	新井田古館遺跡第 32 地点	本調査	個人住宅建築	令和元年 11月 20～26日	102.00	集落跡/古代
51	館平遺跡第 30 地点 (新田城跡)	確認調査	内容確認調査	令和元年 7月 1～31日	400.00	集落跡・城館跡/縄文・古代・中世・近世
52	一王寺遺跡	確認調査	史跡内容確認調査	令和元年 7月 4日～9月 10日	400.00	集落跡/縄文
53	八戸城跡第 42 地点	本調査	南部会館板塀移設工事	平成 31年 4月 17日～4月 25日	24.00	城郭/近世
54	八戸城跡第 43 地点	本調査	県道整備工事	令和元年 9月 2日～10月 15日	270.00	城郭/近世
55	酒美平遺跡第 19 地点	本調査	社会福祉施設建設	令和元年 10月 7日～11月 15日	238.00	集落跡/縄文・飛鳥・奈良
56	熊野堂遺跡第 7 地点	本調査	地中送電線埋設工事	令和元年 10月 21日～11月 14日	180.00	集落跡/古代

市内遺跡発掘調査事業

受託事業

2. 調査概要

(1) 主な試掘調査

①八戸北インター第2工業団地開発予定地 (p26-No.26)

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢・笹ノ沢地内

担当職員：小笠原 善範・上ノ山 拓己

調査概要：八戸北インター第2工業団地建設に伴い試掘調査を行った。今年度は開発予定地内4か所で調査を実施し、調査順にA～D地点と付番した。

これまでの調査は、地権者の了承を得られた範囲に限られており、次年度以降も本遺跡における試掘調査を継続する予定である。

A 地点

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢 28

検出遺構：なし

出土遺物：なし

調査概要：敷地全体にトレンチを設定して調査を行った。その結果、15～50cm掘削したところで二ノ倉火山灰層～高館火山灰層に達した。このため、この調査区は過去に大規模に削平されていることが確認された。また、調査区全体でトレンチャーによるとみられる溝状の攪乱を確認した。

B 地点

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢 23-7

検出遺構：なし

出土遺物：縄文土器、石器

調査概要：A地点に隣接する地点である。140～205cm掘削したが、地山は検出されなかった。遺物が数点出土したが、掘削土中から枝や幹、農用品などが出土したことから、この地点は沢などの窪んだ地形を客土を用いて埋め立てたと考えられる。



A 地点全景（南西から）



A 地点完掘状況（南西から）



B 地点全景（南東から）



B 地点完掘状況（北東から）

C 地点

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢 26

検出遺構：なし

出土遺物：なし

調査概要：敷地全体にトレンチを設定して調査を行った。その結果、20～115cm 掘削したところで遺構確認面に達した。堆積の状況から、土地の高い地点は削平、低い地点では盛土されていることが確認された。また、この地点でも調査区全体でトレンチャーによるとみられる溝状の攪乱を確認した。



C 地点完掘状況 (南西から)

D 地点

調査地：八戸市大字尻内町字笹ノ沢 67-1・67-2
・67-3

検出遺構：なし

出土遺物：土師器

調査概要：トレンチを設定して調査を行った。その結果、30～120cm 掘削したところで遺構確認面に達した。堆積の状況から、この地点でも、標高の高い地点は削平、低い地点では盛土されていることが確認された。また、調査区全体でトレンチャーによるとみられる溝状の攪乱を確認した。



D 地点完掘状況 (北西から)

②丹内遺跡第2地点 (p26-No.7)

調査地：八戸市大字妙字丹内 9-7・9-8

担当職員：宇庭 瑞穂・小笠原 善範

検出遺構：竪穴建物跡、土坑、溝跡、ピット

出土遺物：縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器、土製品、石器、銭貨

調査概要：太陽光発電設備設置に伴い試掘調査を行ったところ、竪穴建物跡や土坑を検出した。太陽光発電設備設置により遺構検出面に掘削が及ぶ範囲は、基礎が設置される非常に狭い範囲に限定されることを確認したため、調査を終了した。



1 トレンチ検出状況



3 トレンチ検出状況

(2) 本発掘調査

①酒美平遺跡第19地点 (p26-No.55)

調査地：八戸市大字田面木字酒美平 16-16

担当職員：宇庭 瑞穂・宇部 則保

検出遺構：竪穴建物跡3棟、溝状土坑3基、柱列1列

出土遺物：縄文土器、土師器、須恵器、石器、石製品、鉄製品

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市庁から南西へ約3.8kmの八戸市田面木地区に所在し、馬淵川支流の坂牛川右岸の標高約35～54mの丘陵に立地する。

本遺跡における発掘調査は平成7年から断続的に行われ、これまでに縄文時代後期及び飛鳥～奈良時代の集落跡が確認されている。飛鳥～奈良時代の集落は、竪穴建物跡・竪穴遺構・掘立柱建物跡・溝跡などからなり、当該時期の集落構成を考える上で重要な遺跡の一つである。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡の南側に位置し、現況は砂利敷の駐車場である。社会福祉施設建設に伴い、平成30年7月20日付で文化財保護法第93条第1項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これに基づき、平成30年8月23・24日に試掘調査を行ったところ、開発範囲全体に遺構が分布していることを確認した。これを受け、届出者と協議したところ、開発範囲内の本発掘調査を実施することで合意した。調査期間は令和元年10月7日から11月15日、調査面積は約238㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】 溝状土坑3基

【飛鳥～奈良時代】 竪穴建物跡3棟

【不明】 柱列1列

エ．出土遺物

【縄文時代】 縄文土器

【飛鳥～奈良時代】 土師器坏・埴・高坏・大型坏・甕・小型土器、須恵器瓶類、石器、石製品、鉄製品

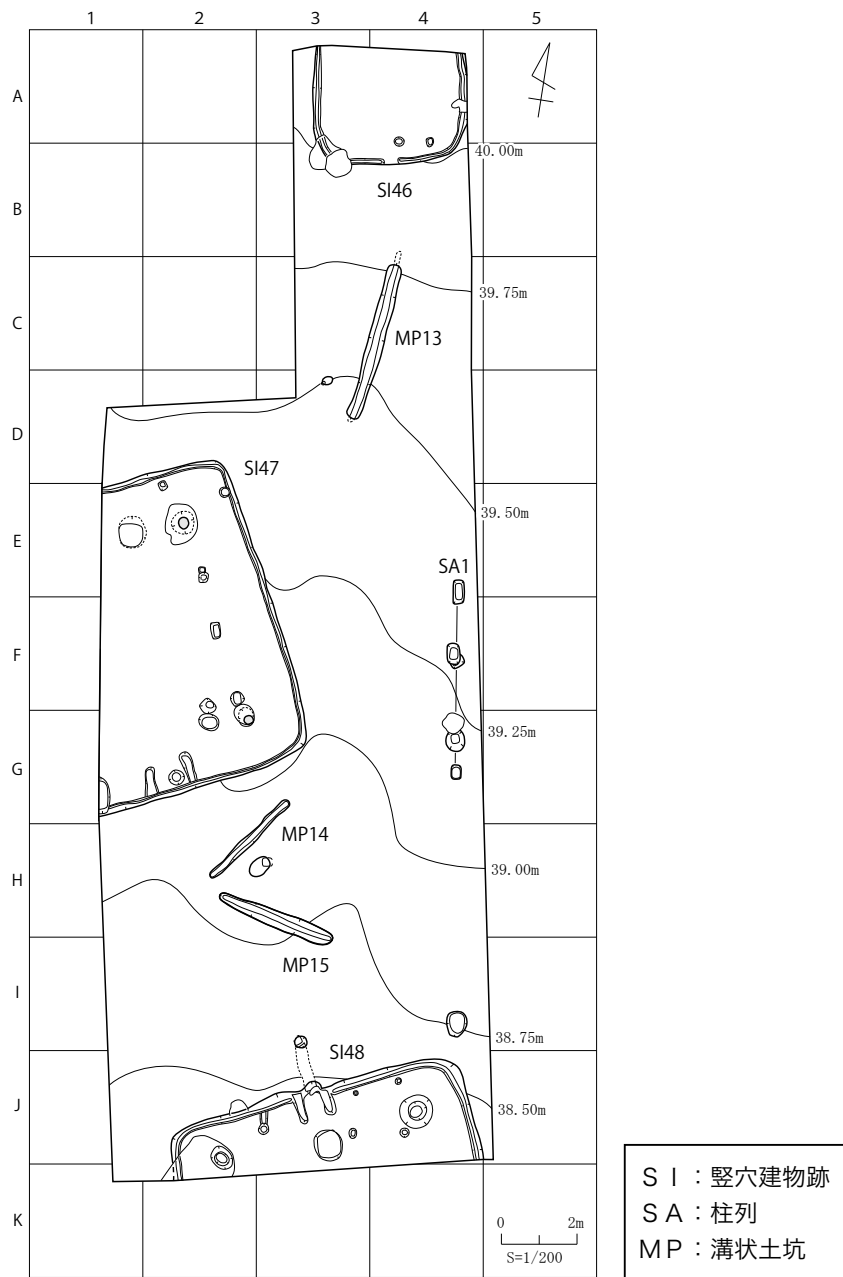
オ．調査成果

古代の竪穴建物跡3棟を検出した。このうちカマドを検出したのは1棟(SI48)であるが、他の2棟からもカマド崩落土が確認され、カマドがあったとみられる。

出土遺物の特徴から、今回検出した竪穴建物跡は、いずれも7世紀後葉から8世紀前葉の飛鳥～奈良時代のものとみられ、過去の調査(第1～3・5・6地点)で確認された飛鳥～奈良時代の集落と連続したものと考えられる。



調査区全景



酒美平遺跡第19地点 遺構配置図



SI48 竪穴建物跡



SI46 竪穴建物跡 鉄製責金具出土状況

②熊野堂遺跡第7地点 (p26-No.56)

調査地：八戸市長根一丁目8番地先

担当職員：横山 寛剛

検出遺構：竪穴建物跡 19 棟、土坑 16 棟、溝跡 4 条、溝状土坑 3 基、性格不明遺構 1 基

出土遺物：土師器、須恵器、土製品、石器、石製品、鉄製品、鉄滓類

調査概要：

ア. 遺跡の概要

八戸市庁から北西に約 1.3km、馬淵川の河口から 3.8km の地点に所在し、標高約 16 m ほどの低位段丘の先端に立地する。

これまで7地点の発掘調査が行われ、奈良時代から平安時代の集落跡が確認されている。竪穴建物跡 211 棟、土坑 530 基、溝跡 28 条、鍛冶関連の炉跡数基等多数の遺構が激しく重複して検出されている。

イ. 調査に至る経過及び調査の方法

調査地点は遺跡の周縁部に位置し、現状は公衆用道路である。

地中送電線埋設工事に伴い、平成 31 年 4 月 16 日付で東北電力株式会社送配電カンパニー青森支社より、文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これまでの周辺の調査により路盤舗装下に遺構が多数残っていることが予想されたため、工事着工に先立ち本発掘調査を行うこととなった。

調査地点は交通量の多い生活道路であり、発掘調査中も片側交互通行として車道を確認する必要があったため、1日のうちに、路盤撤去→表土掘削→遺構精査・記録→埋め戻し→道路仮復旧までの工程を行うことを 16 日間繰り返した。

ウ. 検出遺構

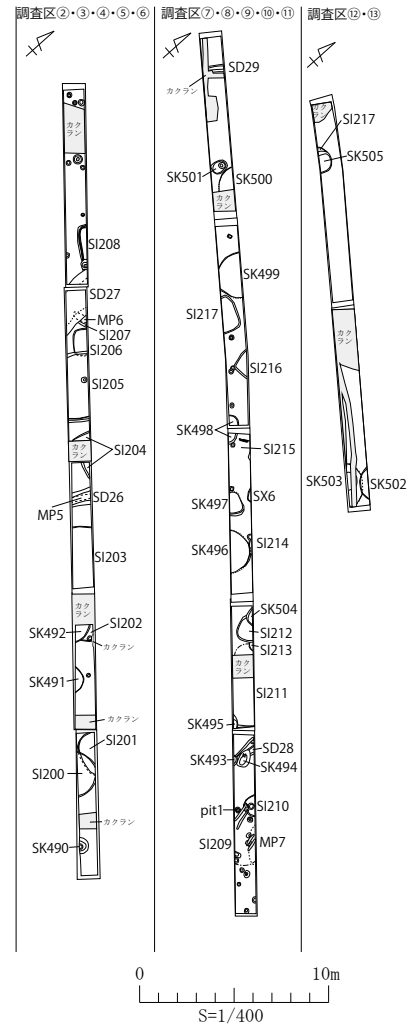
【古代】竪穴建物跡 19 棟、土坑 16 棟、溝跡 4 条、溝状土坑 3 基、性格不明遺構 1 基

エ. 出土遺物

【古代】土師器、須恵器、土製品、石器、石製品、鉄製品、鉄滓類

オ. 調査成果

本地点は幅約 1.2 m、長さ約 150m という非常に細長い調査区であるが、これまでの調査地点と同様に、飛鳥・奈良・平安時代の竪穴建物や土坑等が高密度で分布していることが確認された。



熊野堂遺跡第7地点遺構配置図



調査区⑤全景

IV 埋蔵文化財調査等

③田面木遺跡第53地点 (p26-No.44)

調査地：八戸市大字田面木字外久保 10-6 および 10-8

担当職員：苧坪 祐樹

検出遺構：竪穴建物跡、炉跡

出土遺物：土師器、須恵器、陶磁器、土製品、銭貨

調査概要：

ア. 遺跡の概要

八戸市庁から南西に約3.8kmに所在し、馬淵川左岸の標高24～50mの丘陵に立地する。これまでの調査により縄文時代から古代までの遺構・遺物が多数検出されている。

イ. 調査に至る経過

調査地点は遺跡の中心部からやや北西寄り、南西から北東へ下る緩斜面の中腹にあたる標高36m前後に位置する。

個人住宅建築に伴い、令和元年6月5日付で文化財保護法第93条第1項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これを受けて令和元年6月10・11日に試掘調査を実施したところ、遺構・遺物が確認され、本発掘調査を行うこととなった。

ウ. 検出遺構

【古代】竪穴建物跡3棟、炉跡2基

エ. 出土遺物

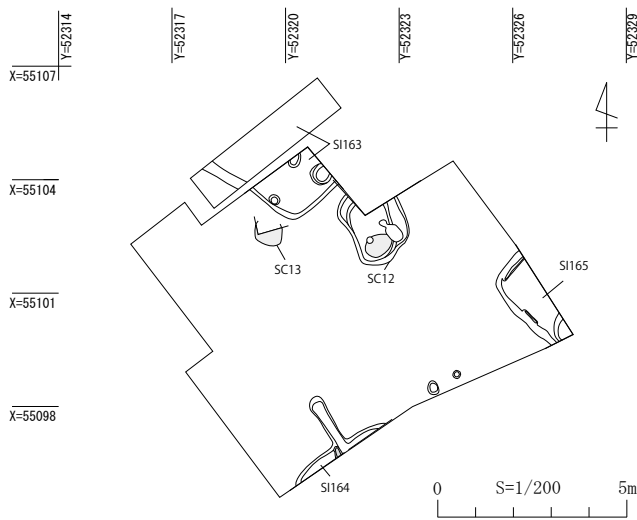
【古代】土師器、須恵器、陶磁器（灰釉陶器）
土製品

【近世】銭貨（寛永通宝）

オ. 調査成果

今回の発掘調査では、約55㎡の限られた範囲で、同じ方向を向いた竪穴建物跡3棟が検出された。出土遺物から平安時代前半頃の竪穴建物跡とみられ、同時代の集落を形成していた可能性がある。

また、これらの竪穴建物跡の1棟からは、地元でつくられた素焼きの土器である土師器とともに灰釉陶器が出土しており、これは注目される成果である。灰釉陶器とは、釉薬を意図的に用いた焼きものであり、平安時代に営まれた窯跡は東海から近畿地方の限られた場所でのみ確認されている。今回出土した灰釉陶器は、現在の岐阜県にあたる東濃産のものとみられ、平安時代の八戸における交易の様子がわかる重要な資料である。



田面木遺跡第53地点遺構配置図



灰釉陶器広口壺（口縁部）



調査区全景



SI164 竪穴建物跡検出状況

④中野(2)遺跡第1地点 (p26-No.37)

調査地：八戸市南郷大字中野字下家前 53-1

担当職員：小笠原 善範・宇庭 瑞穂

検出遺構：性格不明遺構、柱穴多数

出土遺物：須恵器、陶磁器、土製品、石製品

調査概要：

ア. 遺跡の概要

八戸市庁から南西に約13kmの南郷大字中野地区に所在し、頃巻川左岸の標高約190～200mの南東側に傾斜する丘陵に立地する。平安時代の散布地として遺跡登録されている。

本遺跡の南側には、由来起源等は不明であるが中世の城館と考えられる中野館跡がある。

イ. 調査に至る経過

調査地点は遺跡南端の緩傾斜地に位置し、ほぼ平坦に削平されている。

個人住宅建築に伴い、平成31年1月7日付で文化財保護法第93条第1項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これを受けて平成31年1月30日に試掘調査を実施したところ、ピットが広範囲に分布していることが判明し、本発掘調査を行うこととなった。

ウ. 検出遺構

【近世以降】柱穴多数

【時期不明】性格不明遺構1基

エ. 出土遺物

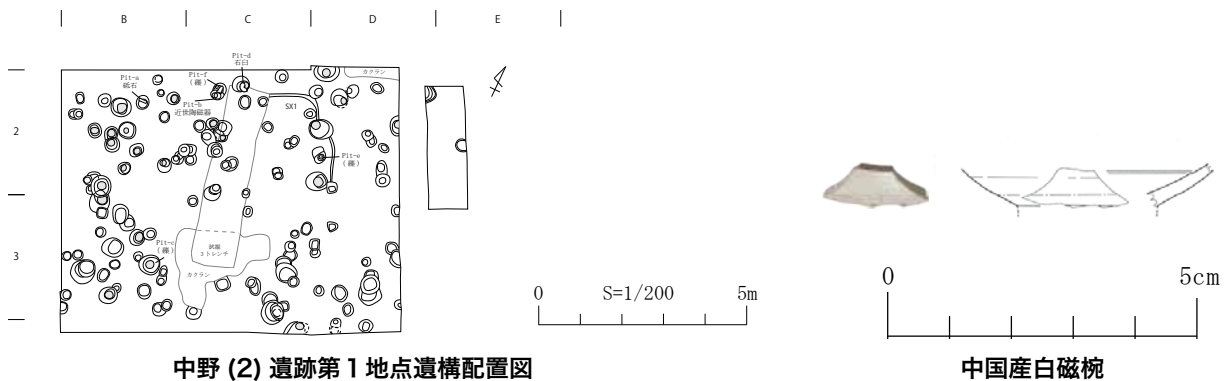
【古 代】須恵器

【中世・近世】中国産白磁碗、陶磁器、石製品、土製品

オ. 調査成果

今回の発掘調査は、本遺跡における初めての本格的な調査であり、その結果、数多くのピットが検出された。また、中世・近世期の陶磁器も少数出土した。今回の調査で古代～近世に至る複合遺跡であることが判明し、現在の中野集落に繋がると考えられる近世あるいはそれ以降の時期に営まれた生活の一端を知ることができた。

また、11世紀後半から12世紀前半の中国産白磁碗が注目される。これまで11・12世紀の陶磁器が出土した遺跡は、八戸市では大仏遺跡、根城跡、館平遺跡の3遺跡のみであった。いわゆる中世城館であるこの3遺跡は、馬淵川もしくは新井田川に面する立地環境の類似が指摘されており、本遺跡は新井田川支流の頃巻川に面し、先の3遺跡と同様の立地環境といえる。



調査区全景



石白出土状況(根石転用)

(3) 内容確認調査

①館平遺跡(新田城跡)第30地点(p26-No.51)

調査地：八戸市大字新井田字館平15・17-1

担当職員：小笠原 善範・上ノ山 拓己

検出遺構：堀跡、掘立柱建物跡、竪穴建物跡、土坑、曲輪造成遺構、性格不明遺構

出土遺物：縄文土器、土師器、陶磁器、石器、土製品、石製品、鉄製品、銭貨

調査概要：

ア．遺跡の概要

館平遺跡(新田城跡)は、市の中心部から南東へ約3.5kmに所在し、新井田川とその支流である松館川が合流する地点の右岸、標高約37mの段丘上に立地する。これまでの調査で縄文時代早期から近世までの複合遺跡であることがわかっている。縄文時代早期中葉の白浜式土器の標式遺跡として著名であるが、根城南部氏の一族・重臣である新田氏によって新田城が築城された場所としても知られている。

イ．調査に至る経緯

調査地点は遺跡中央からやや西側、標高約37mの新田城跡本丸部分の平坦地である。地番は八戸市大字新井田字館平15および17-1で、現況は畑地である。

新田城跡本丸部分の公園整備計画に伴い、新田城跡が埋蔵文化財包蔵地である館平遺跡に含まれ、根城南部氏に関連する重要遺跡であることから、

公園化が予定される本丸部分を平成30年度より3か年の計画で内容確認調査を実施している。調査の方法は、調査対象面積約15,300㎡をA・B・C区の3区に分け、トレンチ方式により調査を行う。今年度はB区について、令和元年7月1日～同年7月31日まで内容確認調査を行った。調査面積は約400㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】竪穴建物跡、土坑

【古 代】竪穴建物跡、土坑

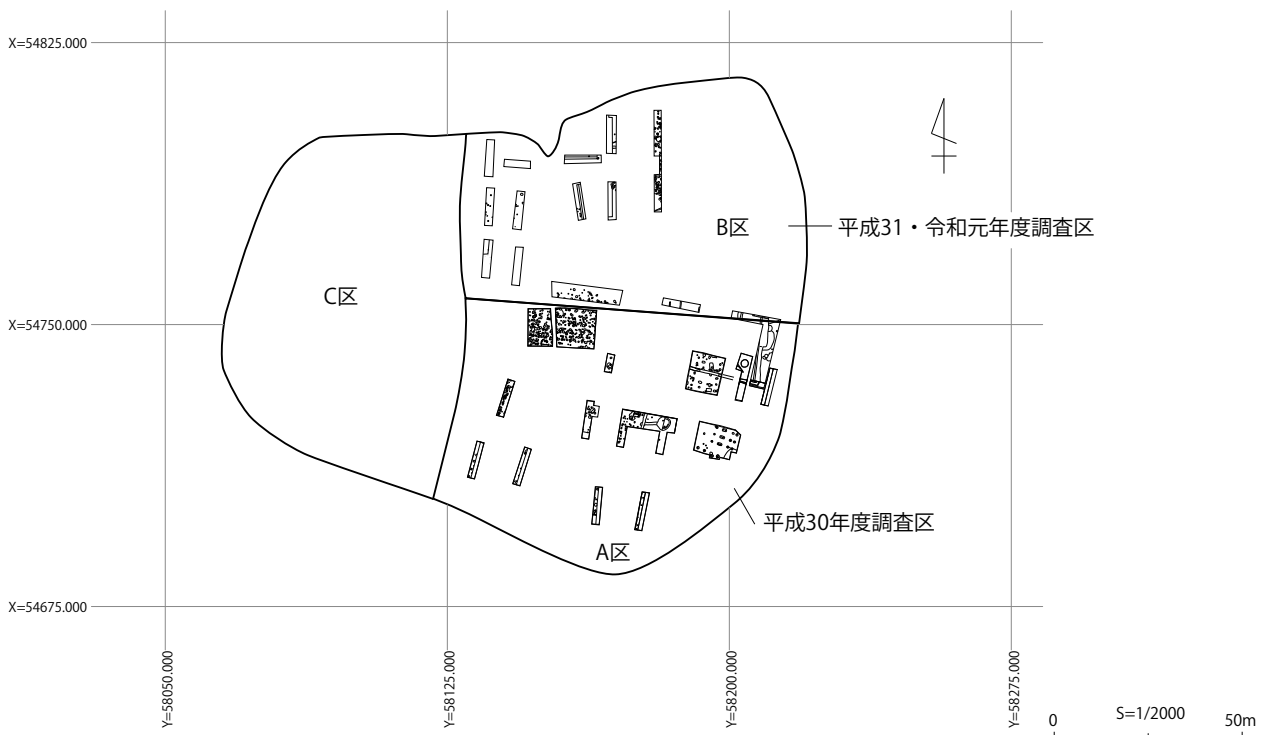
【中世・近世】掘立柱建物跡、曲輪造成遺構、性格不明遺構

エ．出土遺物

【縄文時代】縄文土器、石器

【古 代】土師器

【中世・近世】陶磁器、土製品、石製品、鉄製品、銭貨



館平遺跡(新田城跡)第30地点調査区全体図

オ. 調査成果

今年度の調査の結果、縄文時代及び中世から近世にかけての遺構・遺物が検出された。また、中世から近世とみられる盛土整地層が検出されたことから、城郭期に曲輪造成に伴う大規模な地形の改変が行われたと考えられる。さらに、遺構の分布の粗密も確認でき、初年度の調査成果とあわせることで城内の土地利用の様子が明らかになりつつある。



調査区全景



盛土整地層

3. 発掘調査報告書

平成 31・令和元年度に実施した発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計 6 冊を刊行した。

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	八戸藩武家屋敷湊家推定地 八戸城跡第 40 地点一店舗建築 に伴う発掘調査報告書一	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 170 集	苧坪祐樹・宇部則保・ 小保内裕之	令和元年(2019) 8月30日
	所収遺跡名：八戸城跡第 40 地点				
2	八戸城跡第 42 地点 一南部会館板塀移設工事に伴 う発掘調査報告書一	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 171 集	苧坪祐樹	令和 2 年(2020) 2月28日
	所収遺跡名：八戸城跡第 42 地点				
3	酒美平遺跡第 19 地点 一社会福祉施設建設に伴う発 掘調査報告書一	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 172 集	宇庭瑞穂・宇部則保	令和 2 年(2020) 3月18日
	所収遺跡名：酒美平遺跡第 19 地点				
4	熊野堂遺跡第 7 地点 一地中送電線埋設工事に伴う 発掘調査報告書一	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 173 集	横山寛剛	令和 2 年(2020) 3月23日
	所収遺跡名：熊野堂遺跡第 7 地点				
5	八戸市内遺跡発掘調査報告書 40	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 174 集	小保内裕之・横山寛剛・ 苧坪祐樹・上ノ山拓己・ 宇庭瑞穂・宇部則保・ 小笠原善範	令和 2 年(2020) 3月27日
	所収遺跡名：櫛引遺跡第 10・11 地点、丹内遺跡第 2 地点、雷遺跡第 8・9・10 地点、中野(2)遺跡第 1 地点、 田面木遺跡第 50・51・52・53・55・56 地点、新田城跡(館平遺跡第 30 地点 B)・第 31 地点				
6	史跡是川石器時代遺跡 一王寺遺跡史跡内容確認調査概 要報告書	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 175 集	横山寛剛	令和 2 年(2020) 3月27日
	所収遺跡名：一王寺遺跡				

平成 31・令和元年度刊行埋蔵文化財調査報告書一覧

4. 情報公開

(1) 令和元年度遺跡調査報告会

令和元年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。また特別報告として、青森県埋蔵文化財調査センターの木村高氏に七戸町、猪ノ鼻(1)遺跡の最新の発掘調査成果についてご報告いただいた。1階体験交流室を報告会場、2階研修室を出土品展示会場とし、市内外から70名の参加があった。

開催日時：11月9日(土)午後2時～

報告内容：

【報告遺跡】午後2時～4時

- ・一王寺遺跡(是川地区)縄文時代
- ・松ヶ崎遺跡(十日市地区)縄文・奈良時代
- ・新田城跡(新井田地区)中世・近世

※特別報告

- ・猪ノ鼻(1)遺跡(七戸町猪ノ鼻地区)
縄文・古墳・平安時代

【主な展示】午後1時～4時30分

- ・一王寺遺跡の縄文土器
- ・松ヶ崎遺跡の縄文土器
- ・新田城跡の陶磁器
- ・猪ノ鼻(1)遺跡の続縄文土器、玉類
- ・市子林・盲堤沢遺跡の続縄文土器
(猪ノ鼻(1)遺跡比較資料)

(2) 現地公開・現地説明会・発掘体験

令和元年度に内容確認調査を行った一王寺遺跡と新田城跡で、現地説明会及び現地公開もしくは発掘体験を行った。

○一王寺遺跡発掘体験・現地説明会

【発掘体験】

開催日時：8月10日(土)

1回目 午前10時～12時

2回目 午後2時～4時

場 所：八戸市大字是川字一王寺 1,2-2,2-3,2-5

参加者数：1回目 9人、2回目 4人

【現地説明会】

開催日時：8月17日(土) 10:00～11:00

場 所：八戸市大字是川字一王寺 1,2-2,2-3,2-5

参加者数：26人



令和元年度遺跡調査報告会 展示会場の様子



木村高氏(猪ノ鼻(1)遺跡)の報告の様子



一王寺遺跡発掘体験のようす



是川一王寺遺跡現地説明会状況

○新田城跡現地公開・現地説明会

【現地公開】

開催日時：7月17日（水）～7月19日（金）
10：00～12：00、14：00～16：00

場 所：八戸市大字新井田字館平 15,17-1

参加者数：一般 11 人

新井田小学校 6 学年 114 人

【現地説明会】

開催日時：7月20日（土）10：00～11：30

場 所：八戸市大字新井田字館平 15,17-1

参加者数：35 人



新田城跡現地説明会の様子

5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業

事業計画 平成 24 年度～令和 3 年度に、是川遺跡出土品の保存修理及び保存台製作を実施する予定である。

期 間 令和元年7月3日～令和2年3月19日

概 要 平成 23 年に是川遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定された。この指定品には多数の木製品や漆製品が含まれており、発掘調査後に保存処理を実施しているが、欠損部分や脆弱な部分が認められる。土器・石器等には石膏の充填、接合部の剥離などが認められる。資料の劣化を抑制するとともに、本来の状態を復元し広く公開活用にするため、保存修理を実施した。また、こうした取り組みを広く周知するため、事業内容を紹介するリーフレットを作成・配布した。

なお、今年度から八戸市博物館所蔵の丹後平古墳群出土品の保存修理も同一事業として実施している。

内 容 注口土器 4 点、台付土器 2 点、小型土器 1 点、加工木材 11 点、木製容器 1 点、計 19 点の保存修理

受 託 者 株式会社吉田生物研究所（京都府）

事 業 費 8,112 千円（50% 国庫補助。丹後平古墳群出土品にかかる費用を含む。）



修理前



欠損部に樹脂を充填



修理後

是川遺跡出土品 保存修理状況

6. 埋蔵文化財活用活性化事業

事業計画 平成 25～30 年度まで国庫補助事業で行った出土品の収蔵整理及びデータベース化を市単独事業で継続実施する。

期 間 平成 31 年 4 月 2 日～令和 2 年 3 月 31 日

概 要 収蔵資料の体系化を目的とし、収蔵品のデータベース化及び再整理・再収納を実施した。

事 業 費 3,261 千円

内 容 熊野堂遺跡 458 点はじめ、計 1,221 点の出土品のデータベース化、再整理・再収納を行った。

V 史跡整備

1. 史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業

是川石器時代遺跡の発掘調査及び研究の成果をもとに、八戸の縄文文化の魅力を伝え、生涯学習・観光・まちづくりの拠点や憩いの場として「是川縄文の里」を整備する事業。平成27年度に「史跡是川石器時代遺跡保存活用計画」、平成29年度に内容確認が最も進んでいる中居遺跡を第1期とした「史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画」を策定し、平成30年度には第1期整備にともなう地形測量と基本設計を実施した。

令和元年度からは第1期整備基本計画に基づき、史跡内に既存する建物の解体撤去と、撤去箇所の発掘調査を進める。元年度は既存施設のうち、①倉庫（昭和8年築、床面積84.84㎡、地下1階、地上2階建）と②管理棟（昭和49年築、床面積38.09㎡、地上1階建）の2棟を着手した。解体撤去工事は、文化財保護法第125条第1項の規定に基づく史跡の現状変更の申請を行い、国からの許可を得た上で行った。工事は、当館職員立会いのもと慎重に進め、史跡のき損防止に努めた。

また建物の撤去後には、史跡の現状確認と、今後整備工事において保護盛土を講じるための表土厚等の確認を目的とした発掘調査を行い、史跡整備に必要な情報の収集に努めた。調査終了後は山砂で養生して埋め戻しを行い、保護措置を行って終了した。

令和2年度は、是川考古館の撤去工事で発掘調査を実施する予定である。



整備にともなう調査（中居遺跡）



倉庫の解体撤去状況（東から 写真左：撤去前 写真右：撤去後）



管理棟の解体撤去状況（北から 写真左：撤去前 写真右：撤去後）



2. 史跡維持管理

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を考慮し4月から10月にかけて除草を実施した。

①ヤギ除草（堀田遺跡・中居遺跡地内）

面積 約13,000㎡
期間 4月24日～10月31日
受託者 八戸市森林組合
事業費 1,084千円

②除草（分館敷地・是川遺跡記念碑）

面積 約15,700㎡
期間 4月26日～9月30日
受託者 八戸市森林組合
事業費 2,787千円

③除草（一王寺遺跡地内）

面積 約80,000㎡
期間 5月21日～9月30日
受託者 株式会社昇造園建設
事業費 1,923千円



除草するヤギ

3. 一王寺遺跡内容確認調査

調査地：八戸市大字是川字一王寺 1,2-2,2-3,2-5

担当職員：横山 寛剛・宇庭 瑞穂

検出遺構：竪穴建物跡、土坑、屋外炉、配石遺構、集石遺構、性格不明遺構、捨て場、貝塚

出土遺物：縄文土器（早期～晩期）、弥生土器（前期）、続縄文土器、土製品、石器、骨角器、動物遺存体
調査概要：

是川石器時代遺跡は、一王寺遺跡・中居遺跡・堀田遺跡の3遺跡により構成される。なかでも本遺跡は、北日本の縄文時代前～中期を代表する「円筒土器」の標識遺跡であり、かつ円筒下層式（前期）と円筒上層式（中期）が初めて層位的に確認された遺跡である。

史跡是川石器時代遺跡第1期整備計画に従い、昭和32年史跡指定地を中心に、本遺跡の内容確認調査を本年度より6カ年計画で実施することとなっている。本年度はその1カ年目である。

今回の調査では、203トレンチの旧調査坑壁面にて貝層を確認した。位置関係から、平成26・28年度調査で検出した貝塚と同一のものと考えられる。貝層の周辺には、縄文時代前期中～後葉にかけての捨て場が形成されていることもわかった。また、調査区東側からは中期後葉の竪穴建物跡を多数検出し、この時期に本遺跡の集落規模が最も大きくなったと推定される。調査区西側では、縄文時代後期初頭～前葉の配石遺構や集石遺構を検出した。これまでの調査で確認されていたとおり、時期によって集落域の土地利用のあり方に変化があらわれている。



192トレンチ
S11-3 竪穴建物跡検出状況（南から）

VI 管理運営概要

1. 協議会等

(1) 令和元年度是川縄文館運営協議会

期日 【第1回】令和元年7月3日(水)13:30～

【第2回】令和元年2月13日(木)13:30～

会場 是川縄文館 2F 研修室

委員 岡村 道雄(会長) 石川 宏之(副会長) 高田 和徳 福田 友之 山下 治子 石藤 清悦 鈴木 規夫

概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・博物館経営・広報等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。各回とも岡村会長による議事進行で協議が行われた。第1回では、平成30年度事業報告と令和元年度事業説明のもと、教育普及事業の実績や館内アンケート集計結果に関する質疑や意見があった。第2回では、令和2年度事業計画の説明をもとに協議を進め、特に世界遺産登録後を念頭に事業展開や展示計画、オリジナルグッズ開発などについて助言があった。



第2回は川縄文館運営協議会

(2) 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

期日 【第7回】令和元年8月8日(木)10:30～

会場 是川縄文館 2F 研修室

委員 岡村 道雄(会長) 高田 和徳(副会長) 辻誠一郎 馬場 光久

概要 史跡是川石器時代遺跡の整備事業について、基本方針、計画等を定めることを目的に有識者による検討を行う委員会。令和元年度の整備事業は第1期整備基本計画に基づいて、既存施設の解体撤去及び撤去箇所の発掘調査に着手した。委員会では第1期基本設計の内容確認とともに、第1期整備の方針・スケジュール、遺構復元、環境復元の方法について慎重な議論が交わされた。また、今年度から開始した一王寺遺跡の内容確認調査について、調査方法の確認や意見があったほか、調査中の現地を視察しながら調査指導を受けた。



史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

(3) 令和元年度是川縄文館懇談会

期日 令和2年2月29日(土)13:30～

会場 是川縄文館 2F 研修室

出席者 中居町内会 田中町内会 是川地区振興会
八戸縄文保存協会 是川文化財愛護会 是川縄文隊 縄文是川ボランティア

概要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営について助言・連携を得るための会合。令和元年度の事業報告、令和2年度事業計画等の説明のもとに連携の進め方について協議した。出席者からは是川縄文館の情報発信や、世界遺産登録に向けた連携等について質疑や意見があった。



是川縄文館懇談会

2. 日記抄

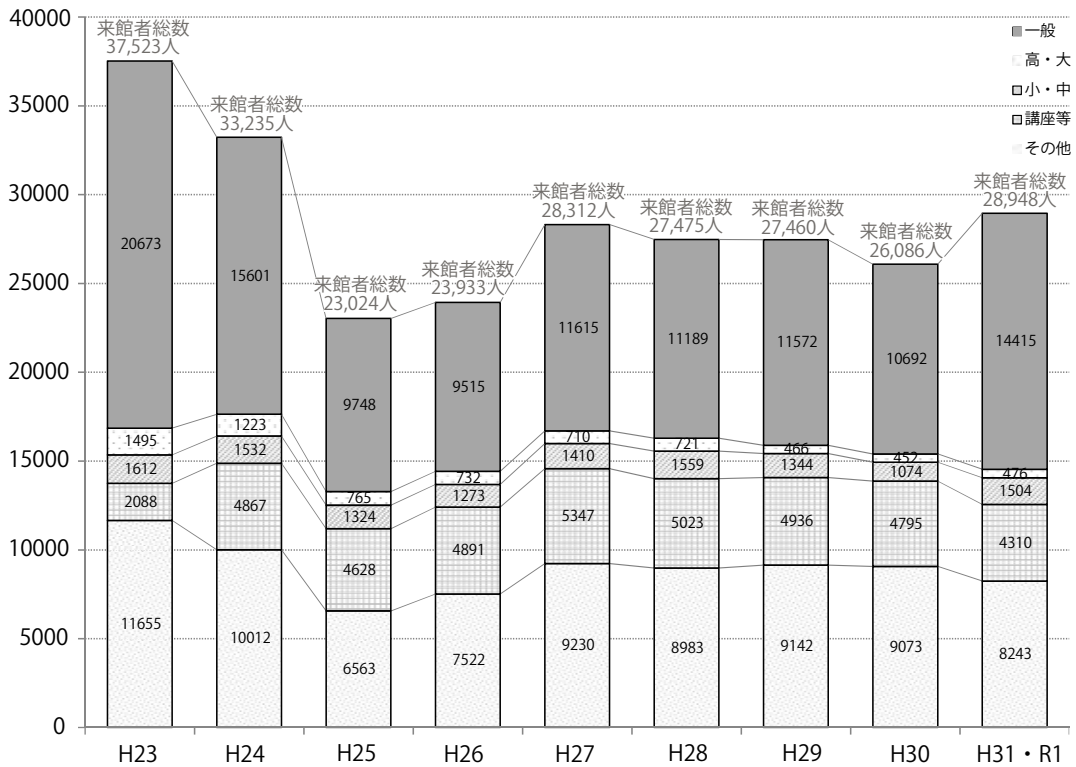
月/日	事項	
4/1	見学：春の修養会 (50人)	見学：原町港湾運送株式会社グループ安全衛生協議会 (7人)
4/3	見学：株式会社なんぶ (17人)	取材：八戸市広報統計課シティプロモーション推進室 (1人)
4/4	取材：株式会社デーリー東北新聞社 (1人) / 株式会社東奥日報社 (1人) / 株式会社ビーエフエム (1人)	6/12 縄文土器作り・見学：八戸市立城下小学校6学年 (35人) / 見学：よねしろ学園 (33人) / 特定非営利活動法人はちのへ未来ネット (51人) / 青森県立七戸高等学校3学年 (89人) / クラブツーリズム株式会社 (21人)
4/5	見学：八戸市総務部人事課 (61人)	取材：株式会社八戸テレビ放送 (2人)
4/6	見学：八戸縄文保存協会 (1人)	見学：青森県立八戸第一養護学校小学部6学年 (2人)
4/9	見学：ユープラン (9人)	取材：びゅうたび (1人)
4/10	下見：八戸水産科学館マリエント (3人)	6/13 滑石の勾玉作り・見学：おいらせ町立百石小学校6学年 (47人)
4/11	見学：ネクストトラトラベルジャパン (3人)	見学：日本産業機械工業会 (4人)
4/16	視察：青森県世界文化遺産登録推進室 (2人)	6/14 考古学講座② (67人)
4/17	火起こし・見学：八戸市立島守小学校6学年 (10人) / 見学：デイサービスセンターほおずき (14人) / 視察：株式会社アーキジオ東北 (2人)	6/15 見学：洲先町いきいきほっとサロン (28人) / 八戸医療協会ウォーキングサークル歩こう会 (17人)
4/18	見学：浅間縄文ミュージアム (2人) / デイサービスセンターほおずき (16人)	取材：株式会社デーリー東北新聞社
4/19	見学：日本生協連 (9人) / デイサービスセンターほおずき (15人)	6/16 講話：第6回カリパ講演会 (40人) 於 恵庭市民会館 講師：当館学芸員
4/20	見学：大湯ストーンサークルボランティアガイドの会 (3人)	6/18 縄文土器作り・見学：新郷村立戸来小学校6学年 (11人)
4/21	取材：青森県立八戸商業高等学校3学年 (2人)	取材：株式会社リミックス (4人)
4/23	縄文土器野焼き (14人) 於分館	6/19 見学：八戸工業大学第二高等学校2学年 (15人)
4/24	見学：文化タクシー株式会社 (1人)	6/20 見学：認定こども園マリアンハウス幼稚園 (45人) / 小規模多機能ホーム椿寿園 (5人)
4/25	企画展内覧会：報道機関・ボランティア (16人) / 取材：株式会社デーリー東北新聞社 (1人) / 避難訓練	6/21 縄文土器作り・見学：田子町立田子小学校6学年 (29人)
4/27	見学：ベル・エポック (4人) / 株式会社オルタスジャパン (3人) / 八戸縄文保存協会 (1人)	6/22 サポートスタッフ研修会④ (15人) / 見学：株式会社山一エンジニアリング (11人) / 八戸市水産科学館マリエント (87人) / 同窓会八戸支部 (24人) / 八戸市縄文保存協会 (1人)
4/28	見学：東北龍馬会 (11人) / 八戸通運株式会社 (6人)	6/23 見学：関屋第一納税貯蓄組合 (20人)
4/29	見学：株式会社八戸タクシー (1人)	6/25 縄文土器野焼き (12人) 於分館
5/2	見学：三八五観光ハイヤー株式会社 (17人)	見学：株式会社タビックスジャパン (10人) / 日本銀行 (3人)
5/3	取材：株式会社ビーエフエム (1人)	6/26 縄文土器作り・見学：南部町立剣吉小学校 (17人) / 見学：八戸縄文保存協会 (1人)
5/4	見学：寺澤タクシー (1人)	6/27 見学：久慈市立小袖小学校5,6学年 (10人) / クラブツーリズム株式会社 (40人)
5/5	滑石でペンダント作り教室 (16人) / 見学：「滑石でペンダント作り教室」参加者 (2人) / 八戸縄文保存協会 (1人) / 株式会社日経カルチャー (13人)	6/28 サポートスタッフ研修会⑤ (18人) / 見学：クラブツーリズム株式会社 (21人)
5/5	見学：八戸縄文保存協会 (1人)	視察：八戸市博物館 (3人)
5/8	見学：三八五交通株式会社 (1人) / 郵船クルーズ株式会社 (59人)	6/29 サポートスタッフ研修会⑥ (12人) / 見学：八戸工業大学創生デザイン学科1学年 (24人)
5/9	滑石の勾玉作り・見学：こども支援センター (7人) / 講話：全国専門学校教育研究会 (120人) / 於東京ガーデンパレス 講師：当館学芸員	6/30 見学：岩手県福岡高校昭和31年卒 (13人)
5/10	見学：株式会社ユニバーサルエンターテインメント (1人) / クラブツーリズム株式会社 (23人)	7/3 見学：上金崎ゆうゆうクラブ (22人) / 視察：八戸市人事課 (5人) / 令和元年度第1回は川縄文館運営協議会
5/11	取材：八戸市広報統計課 (1人)	取材：株式会社東奥日報社 (1人)
5/11	考古学講座① (61人) / 企画展ギャラリートーク (11人)	7/4 縄文土器作り・見学：八戸市立中居林小学校6学年 (51人)
5/11	見学：八戸縄文保存協会 (1人) / 株式会社朝日旅行 (20人)	7/5 見学：クラブツーリズム (38人)
5/11	取材：株式会社デーリー東北新聞社 (2人) / 株式会社東奥日報社 (1人)	視察：八戸市教育委員会 (3人)
5/12	視察：駐日チェコ共和国大使館 (4人)	合掌土器作り教室 (19人)
5/14	縄文土器作り・見学：八戸市立鯉中学校1学年 (56人)	取材：株式会社東奥日報社 (1人)
5/15	見学：青森県立むつ高等技術専門学校 (18人) / 下見：株式会社オルタスジャパン (1人) / 青森県立八戸第一養護学校 (2人)	7/7 滑石の勾玉作り：あおもりJOMONフェスタ (71人) / 於イオンモール下田
5/16	滑石の勾玉作り・見学：六ヶ所村立南小学校6学年 (13人)	7/9 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立江陽小学校 (37人) / 見学：日本地下石油備蓄株式会社 (24人) / クラブツーリズム株式会社 (43人)
5/18	サポートスタッフ研修会① (19人) 講師：当館学芸員	下見：第10回布袋ツアー (2人)
5/21	見学：八戸縄文保存協会 (1人)	7/10 滑石の勾玉作り・見学：階上町立石鉢小学校6学年 (42人) / 見学：おいらせ町三田町内いきいきサロン (28人) / 八戸縄文保存協会 (1人) / スーパードラッグアサヒ① (43人) / スーパードラッグアサヒ② (44人)
5/23	取材：株式会社オルタスジャパン (7人)	7/11 合掌土器作り・講話：令和元年度初任者研修 (37人) 講師：当館館長
5/24	見学：株式会社トラベル日本 (21人) / クラブツーリズム株式会社 (16人) / 株式会社朝日旅行 (16人)	見学：株式会社グッドツーリスト北関東支社 (44人)
5/25	これかわ考古学クラブ開講式 (4人) / サポートスタッフ研修会② (21人) 講師：当館学芸員	7/12 縄文土器作り・見学：八戸市立吹上小学校6学年 (81人)
5/26	見学：八戸縄文保存協会 (1人) / NPO 法人ワーカーズグループ (4人)	7/13 見学：東北ブロックたばこ耕作組合連絡協議会 (16人)
5/28	縄文土器野焼き (17人) 於分館	7/15 考古学講座③ (55人)
5/29	見学：おいらせ町立木ノ下小学校6学年 (118人) / 就労継続支援B型事業所こぶし (14人)	7/15 合掌土器国宝指定10周年記念講演会 (96人) / 取材：株式会社ビーエフエム (1人) / 株式会社東奥日報社 (1人) / デーリー東北新聞社 (1人)
5/30	滑石の勾玉作り・見学：階上町立赤保内小学校6学年 (32人) / 見学：下田納税組合 (18人) / 寺下バス (1人)	7/17 見学：森の菜園たっこ (26人) / 裾野地区町会連合会 (9人)
5/31	縄文土器作り・見学：八戸市立湊小学校6学年 (50人)	7/18 滑石の勾玉作り・見学：青森県立八戸中央高等学校3,4学年 (66人) / 見学：一戸町立一戸南小学校5,6学年 (29人) / 湊病院 (11人)
5/31	見学：有限会社スタジオ大島 (1人)	7/19 特別展メディア向け内覧会 (4人) / 特別展ボランティア向け内覧会 (19人) / 見学：エコ親和会 (8人)
6/1	これかわ考古学クラブ① (6人)	新井田城現地説明会 (35人)
6/3	滑石の勾玉作り・見学：八戸市立白銀南小学校6学年 (78人) / 八戸市立桔梗野小学校6学年 (40人) / 見学：原町港湾運送株式会社グループ安全衛生協議会 (6人)	特別展ギャラリートーク (12人) / 見学：ピーアンドイー (2人)
6/5	見学：板柳町文化財研究会 (13人)	7/21 見学：八戸縄文保存協会 (2人) / 日報恩互助会 (10人)
6/7	見学：スモーカーヒル高校 (14人) / 県南タクシー株式会社 (1人)	7/22 講話：TNB あおもり支部第34回講演会 (30人) 於八戸パークホテル 講師：当館学芸員
6/8	企画展ギャラリートーク (6人) / サポートスタッフ研修会③ (14人)	
6/9	見学：諏訪ノ平納税貯蓄組合 (13人) / 日本飛行機労働組合杉田支部 (9人)	
6/11	縄文土器作り・見学：階上町立階上小学 (11人)	

月/日	事項		
7/23	講話：第14回 持続可能性の視点からみた地域社会(99人) 於八戸工業大学 講師：当館学芸員	9/4	縄文遺跡群イコモス現地調査リハーサル(17人) グッジョブウィーク：八戸市立大館中学校2学年(2人)
7/24	見学：つがる市ボランティア研修(12人)/ 田向デイサービス(2人) 視察：青森県議会総務企画危機管理委員会(17人)		滑石の勾玉作り・見学：青森県立八戸高等学校1,2学年(25人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)/ 八戸市立江陽中学校(7人)
7/25	見学：あおぞらの会(30人)/ クラブツーリズム株式会社(41人)	9/5	グッジョブウィーク：八戸市立大館中学校2学年(2人) 滑石の勾玉作り・見学：小中野公民館(於：小中野公民館)(29人)
7/26	滑石の勾玉作り・見学：六戸町教育課(29人) 縄文土偶作り：個人体験学習(2人) 取材：株式会社東奥日報社(1人) 視察：八戸市下水道建設課(30人)		見学：中央青葉鶴寿会(8人)/ 八戸縄文保存協会(1人)/ クラブツーリズム株式会社(37人)
7/27	特別展ギャラリートーク(2人) 見学：青葉の社(13人)/ 八戸縄文保存協会(3人)	9/6	グッジョブウィーク：八戸市立大館中学校2学年(2人) 縄文土偶作り・見学：八戸市立明治中学校1学年(22人)
7/28	取材：株式会社デーリー東北新聞社(1人)		講話・見学：鶴盟大学(73人) 見学：川久保病院(14人)/ クラブツーリズム株式会社(24人)/ クラブツーリズム株式会社(43人)
7/30	縄文土器野焼き(14人) 於分館 見学：八戸縄文保存協会(3人) 取材：株式会社青森テレビ支社(3人)/ 株式会社東奥日報社(1人)/ NHK八戸支局(3人)/ 株式会社デーリー東北新聞社(1人)	9/7	縄文の布を編む講座(12人) 特別展ギャラリートーク(19人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)/ 県北報公会(18人)
7/31	見学：原子歴史の会(7人)/ 八戸縄文保存協会(1人)	9/8	見学：八戸縄文保存協会(1人)
8/1	見学：岩手工業株式会社(2人)/ 八戸縄文保存協会(11人)/ 新屋支店年金友の会/26人/ 株式会社丹青社(1人)	9/10	見学：クラブツーリズム株式会社(44人)/ 八戸縄文保存協会(1人)
8/3	特別展ギャラリートーク(8人) これかわ考古学クラブ②(8人) 見学：三八五交通株式会社(24人)/NPO法人e-コンテンツ研究所 (2人)/ ハーモニー白銀(20人)/ 真己(12人)	9/12	縄文土偶作り：八戸市立是川小学校2学年(31人) 視察：八戸圏域水道企業団(5人)
8/4	見学：八戸市教育委員会教育指導課(36人)/ 洋教教室(9人)	9/13	縄文土器作り・見学：八戸市立根城小学校6学年(84人) 見学：社会福祉法人合歓の会 関南保育園(40人)/ クラブツーリズム株式会社(24人)
8/5	見学：株式会社サスケ(2人)	9/14	シカの角でペンダント作り教室(11人)
8/6	見学：タイムトラベル(13人)/ 八戸縄文保存協会(1人)	9/18	滑石の勾玉作り・見学：八戸市立三条小学校6学年(45人) 縄文土器作り：八戸市立是川小学校4学年(1人) 於是川中学校
8/7	滑石の勾玉作り/ 個人体験学習(4人) 見学：日本たばこ産業株式会社(10人)	9/21	縄文土器野焼き(13人) 於分館 縄文土偶作り：個人体験学習(2人) 見学：県北報公会(19人)/ むつ小河原石油備蓄株式会社(4人)
8/8	第7回八戸市史跡は川石器時代遺跡整備検討委員会	9/22	見学：グリーン観光(14人)
8/9	見学：39会(6人)	9/25	見学：三八五交通株式会社(5人)
8/10	特別展ギャラリートーク(2人) 見学：久慈市夏井市民センター(14人)/ 八戸生命学園(7人)/ 八戸縄文保存協会(5人)	9/26	見学：秋北航空サービス株式会社外叉(5人)/ 中南県民局(25人)/ 十和田市文化財保護協会(38人)
8/11	見学：八戸縄文保存協会(1人)		視察：八戸市新美術館建設推進室(2人)
8/12	見学：八戸縄文保存協会(1人)	9/27	縄文土器作り：青森県老人クラブ連合会(26人) 見学：川内地区連絡協議会(18人)/ 奈良学友会関東支部(46人)/ クラブツーリズム株式会社(35人)
8/13	見学：八戸縄文保存協会(4人)/ 鶴見大学文化財学科(8人)	9/28	見学：八戸縄文保存協会(1人)
8/15	取材：株式会社朝日新聞社(1人)	9/29	見学：若葉町会(30人)/ 苫小牧縄文会(20人)
8/17	一王寺遺跡現地説明会(26人) 八戸市博物館・博物館実習にかかる見学実習(7人) 特別展ギャラリートーク(4人) 一王寺遺跡現地説明会(26人)	10/1	見学：八戸縄文保存協会(2人)
8/18	第24回これかわ縄文まつり(918人) 於分館	10/3	見学：八戸市立根城小学校1学年(5人)
8/20	縄文土偶作り・下見：八戸市立明治中学校(2人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)	10/4	企画展内覧会：報道関係・ボランティア(21人)
8/21	縄文土器作り・見学：八戸市立大久喜小学校5,6学年(16人)/ ニシダテ写真倶楽部(1人) 見学：国立文化財機構文化財活用センター(2人)/ 板柳町納税貯蓄組合連合会(29人)/ クラブツーリズム株式会社 (26人)/ クラブツーリズム株式会社(38人) 下見：八戸市立柏崎小学校(3人)	10/5	企画展ギャラリートーク(5人)
8/22	見学：八高同窓会(8人)/ 八戸縄文保存協会(1人)/ 野菜藤坂支部(13人)	10/6	見学：八戸ライオンズクラブ(14人)
8/23	視察：東海村村議会議員(7人)	10/7	見学：株式会社ノマド(8人)/ LEC(20人)/ 一戸南学童クラブ(40人)
8/23	特別展考古学講座(73人) 特別展ギャラリートーク(10人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)	10/8	見学：小規模多機能ホームほっとハウス(23人)/ クラブツーリズム株式会社(30人)/ 新むつ小川原株式会社(9人)
8/25	見学：八個協(3人)	10/9	取材：青森県観光国際戦略局観光企画課(1人)/ NHK八戸支局(3人) 見学：クラブツーリズム株式会社(32人)/ 株式会社近畿日本ツーリスト東北(25人)
8/26	見学：青森県庁企画政策部世界文化遺産登録推進室(3人) 視察：御所野縄文博物館(33人)	10/12	企画展ギャラリートーク(7人) これかわ考古学クラブ③(3人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)
8/27	縄文土器作り：八戸市立是川小学校3学年(25人)	10/13	滑石の勾玉作り・縄文の布を編む：わくわくフェスタ2019(81人) 於八食センター 見学：ソフターズ50(20人)
8/28	縄文土器作り：八戸市立是川小学校4学年(19人) 取材：株式会社八戸テレビ放送(4人)	10/14	滑石の勾玉作り・縄文の布を編む：わくわくフェスタ2019(108人) 於八食センター
8/29	縄文土器作り：八戸市立是川小学校5学年(28人) 見学：七戸町赤十字奉仕団(26人)/ 東部トップアーツ株式会社(20人)/ 株式会社クラブツーリズム(37人)/ 八戸縄文保存協会(2人)	10/16	見学：鷹ノ巣婦人団体連合会(34人) 視察：外ヶ浜町教育委員会(7人)
8/30	土製ペンダント作り：八戸市立是川小学校1学年(19人) 見学：十和田市立三本木小学校5学年(104人)	10/18	見学：扇田病院退職者会(20人)
8/31	特別展ギャラリートーク(5人) 見学：スポーツ振興課(34人)/ 三菱製紙株式会社(4人)/ 八戸縄文保存協会(2人)/ 株式会社青森銀行鶴田支店(11人)/ 藤森会(28人)	10/19	企画展ギャラリートーク(8人) 縄文土器作り講座①(10人) 見学：ポストタクシー株式会社(2人)/ 八戸縄文保存協会(1人)
9/1	見学：青森県観光企画課(16人)/ 茶道裏千家淡交会(50人)/ 八戸縄文保存協会(2人)	10/20	取材：株式会社交通新聞社(2人)
9/2	講話・見学：潮風アウトドア協会(3人)	10/24	見学：株式会社エイチ・アイ・エス(24人)
9/3	グッジョブウィーク：八戸市立大館中学校2学年(2人) 縄文土偶作り：八戸市立是川小学校6学年(36人) 見学：青森県立八戸第一養護学校中学校部1,2学年(4人)/ 八戸縄文保存協会(1人)	10/25	見学：くりーんプラザ・龍(17人) 是川中学校テラコッタ野焼き 於是川中学校 見学：花松老人クラブ(14人)/ 久慈市立久喜小学校5,6学年(11人) 株式会社びゅうトラベルサービス(29人)/ 八戸縄文保存協会(1人)
		10/26	企画展ギャラリートーク(1人) 縄文土器づくり講座②(8人)
		10/27	見学：豊膳会納税貯蓄組合(13人)/ 奥松島縄文村歴史資料館(26人)
		10/29	縄文土器野焼き(18人) 於分館 見学：岩手大学(16人)/ 三戸町退職者福祉会(18人)
		10/31	滑石の勾玉作り：新郷村立西越小学校5学年(4人) 見学：新郷村立西越小学校6学年(3人)
		11/1	見学：十和田市立大深内中学校1,2,3学年(36人)

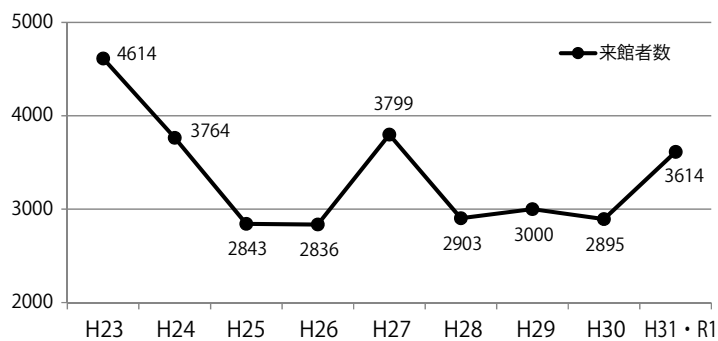
月/日	事項		
11/2	企画展考古学講座 (48人) 企画展ギャラリートーク (3人) 見学: マルイチ工業株式会社 (12人)		見学: 種市中央少年消防クラブ (16人) / 弘南観光開発株式会社 (106人) 見学: 弘南観光開発株式会社 (120人)
11/3	見学: 株式会社シーピーアーズ (18人)	1/12	見学: 弘南観光開発株式会社 (124人)
11/6	見学: 株式会社国際交流サービス (34人) / 株式会社クラブツーリズム (38人)	1/13	講話: 八戸東高校父母と教師の会読書会 (35人) 於八戸パークホテル 講師: 当館館長
	視察: 苫小牧市役所 (3人) / 八戸市教育委員会教育指導課 (4人)	1/15	火起こし・取材: 有限会社サウンドクリエイト (8人)
11/7	見学: クラブツーリズム株式会社 (21人)	1/16	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
11/9	企画展ギャラリートーク (9人) 令和元年度遺跡調査報告会 (70人)	1/17	見学: 弘南観光開発株式会社 (68人)
	見学: ホープフルのぎく園 / 八戸縄文保存協会 (1人)	1/18	見学: 弘前大学社会科学部 (18人)
11/10	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)		見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
11/12	見学: 株式会社日本旅行 (19人) / 鹿島町ホットサロン (25人) / クラ ブツーリズム株式会社 (41人) / 八戸縄文保存協会 (1人)	1/19	見学: 弘南観光開発株式会社 (68人)
11/13	見学: デイサービス木崎野 (15人)	1/21	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
11/14	見学: 木崎いきいきサロン (20人) / クラブツーリズム株式会社 (40人)	1/22	見学: 八戸縄文保存協会 (2人)
11/15	火起こし・見学: 八戸市立美保野小学校 (12人) 滑石の勾玉作り・見学: 八戸市立長者小学校6学年 (59人)	1/23	視察: 八戸市立柏崎公民館 (1人)
	見学: JTB・GMT (13人)	1/24	見学: 吉野田八幡宮 (12人)
11/16	企画展ギャラリートーク (1人) トチの実で縄文 cooking! (15人)	1/25	見学: 弘南観光開発株式会社 (61人)
	見学: 青森スタディーツアー (10人) / 売市婦人会 (11人)	1/26	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
11/17	見学: 日本漆アカデミー (35人)	1/28	見学: 弘南観光開発株式会社 (40人)
11/19	講話: ビジネスサークル (15人) 於八戸プラザホテル 講師: 当館学芸員	1/31	講話: ふるさと味の倶楽部 (25人) 於萬麟 講師: 当館館長 下見: 弘前大学職員組合 (2人)
	滑石の勾玉作り・見学: 八戸市立柏崎小学校6学年 (110人)	2/1	これかわ考古学クラブ修了式 (5人)
	見学: クラブツーリズム株式会社 (25人)		見学: 弘南観光開発株式会社 (31人)
11/20	見学: 沼館二丁目第二婦人会 (14人)		サポートスタッフ研修会② (16人)
	取材: 株式会社毎日新聞社 (1人)	2/2	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
11/21	板状土偶作り (9人) 於是川小学校	2/5	取材: 青森放送八戸支社 (2人)
11/22	見学: 大平洋金属 (13人) / 八戸縄文保存協会 (4人) / 八戸市立町畑小学校 (5人) / 二戸市立中央公民館 (32人) / クラブツーリズム株式会社 (22人)	2/6	取材: 青森テレビ (2人)
	取材: 株式会社陸奥新報社 (1人)	2/7	視察: 青森県市議会議長会 (23人)
11/23	企画展ギャラリートーク (3人) 縄文土器野焼き (15人) 於分館	2/8	見学・体験: 五戸町立五戸小学校5学年 (61人)
	視察: 株式会社電通東日本 (8人)		考古学講座③ (42人)
11/26	見学: 八戸学院大学 (6人)		取材: デーリー東北 (1人)
	取材: 株式会社デーリー東北新聞社 (2人)	2/11	視察: 青森県誘客交流課 (5人)
11/27	取材: 株式会社デーリー東北新聞社 (2人)	2/13	令和元年度第1回は川縄文館運営協議会 見学: 八戸縄文保存協会 (2人)
11/28	滑石の勾玉作り・火起こし・見学: 八戸市立桔梗野小学校5学年 (13人)		見学: ワールド航空サービス (10人)
	見学: 八戸市立江南小学校5学年 (9人) / エナジースプリングス (7人)	2/15	視察: 青森県庁誘客交流課 (13人)
11/29	見学: 八戸市立白鷗小学校6学年 (50人)	2/16	サポートスタッフ研修会④ (25人)
	視察: 日本博物館協会東北支部東北地区博物館協会青森博物館等協会 (34人)	2/17	見学: 八戸縄文保存協会 (3人)
	取材: 株式会社デーリー東北新聞社 (4人)	2/18	見学: 小金井史談会 (3人)
11/30	面接授業: 放送大学青森学習センター八戸SS (27人) 講師: 当館学芸員	2/17	火起こし: かかり火えんぶり (3人) 於市庁前広場
	見学: 長万部町役場 (8人)	2/18	見学: 朝日旅行 (14人)
12/1	面接授業: 放送大学青森学習センター八戸SS (26人) 講師: 当館学芸員	2/20	取材: 八戸農業協同組合 (1人)
	取材: 株式会社東奥日報社 (1人)		見学: むつ小川原マリンサービス㈱ (3人)
12/3	滑石の勾玉作り・見学: 階上町立道仏小学校 (17人)	2/22	取材: 青森県誘客交流課 (11人)
12/5	見学: ポスタクシー株式会社 (1人)		見学: 是川地区婦人会 (17人)
	視察: 公益社団法人青森県観光連盟 (4人)		見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
12/6	見学: 八戸工業大学第一高等学校3学年 (24人)		下見: 八戸市立函南小学校 (1人)
12/7	考古学講座④ (39人)		見学: 三八五交通㈱ (1人)
	見学: パラマウントケアサービス (19人)	2/23	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
12/8	講話: 縄文案内人フォーラム (6人) 講師: 当館学芸員 (於八戸市総合福祉会館)		見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
	見学: 八戸縄文保存協会 (2人) / 株式会社三越伊勢丹ニッコウトラベル (13人)	2/26	見学: 国立歴史民俗博物館 (7人)
12/10	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)	2/29	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
	下見: 有限会社サウンドクリエイト (1人)	3/1	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
12/13	内覧会: ボランティア (17人)	3/3	見学: 八戸縄文保存協会 (2人)
12/14	講話: 館公民館講座 (24人) 於八戸市立館公民館 講師: 当館学芸員	3/8	取材: 出光カード会員誌「MOCO」(2人)
	滑石の勾玉作り (6人) 於ハートフルプラザはしかみ	3/13	見学: さくら病院デイケア (10人)
	取材: 株式会社キーフレーム (8人)	3/14	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
12/17	見学: 八戸縄文保存協会 (2人) / 八戸市立根岸小学校6学年 (72人)	3/21	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)
12/18	取材: 八戸縄文保存協会 (1人)	3/25	見学: 株式会社三八五バス (6人)
	視察: 公益社団法人青森県観光連盟 (7人)	3/26	ボランティア懇談会 (13人)
12/20	滑石の勾玉作り・見学: 八戸市立多賀台小学校6学年 (30人)	3/28	縄文土器野焼き (15人) 於分館
	取材: 青森放送株式会社 (2人)	3/31	取材: 青森朝日放送株式会社 (2人)
12/21	これかわ考古学クラブ④ (7人)		
	取材: 株式会社デーリー東北新聞社 (13人)		
12/25	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)		
1/8	視察: 八戸市議会事務局 (3人)		
1/9	見学: 八戸縄文保存協会 (1人)		
1/11	縄文土器の拓本教室 (5人)		

3. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本館総 入館者	開館 日数	平均 入館者	分館総 入館者	総計
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計								
4月	1,043	21	106	1,170	13	9	28	50	36	33	129	12	210	1,430	328	237	1,995	27	74	166	2,161
5月	1,922	63	192	2,177	117	0	144	261	44	35	107	34	220	2,658	622	348	3,628	27	134	460	4,088
6月	1,179	39	43	1,261	197	22	82	301	33	26	140	89	288	1,850	508	388	2,746	27	102	278	3,024
7月	986	18	52	1,056	348	53	97	498	37	27	77	26	167	1,721	692	488	2,901	29	100	333	3,234
8月	2,242	102	321	2,665	303	0	106	409	35	28	179	50	292	3,366	1,710	648	5,724	30	191	1,304	7,028
9月	1,236	39	49	1,324	409	25	0	434	26	20	92	35	173	1,931	567	445	2,943	26	113	461	3,404
10月	799	9	26	834	274	0	38	312	14	7	43	8	72	1,218	362	276	1,856	27	69	194	2,050
11月	723	6	31	760	321	0	36	357	14	9	101	25	149	1,266	962	394	2,622	26	101	353	2,975
12月	443	9	11	463	0	23	14	37	10	6	20	16	52	552	245	233	1,030	23	45	18	1,048
1月	392	4	30	426	662	1	1	664	5	1	28	32	66	1,156	142	271	1,569	23	68	2	1,571
2月	464	15	19	498	30	0	58	88	10	6	43	10	69	655	193	539	1,387	24	58	13	1,400
3月	312	18	20	350	0	0	0	0	14	8	30	8	60	410	94	43	547	26	21	32	579
計	11,741	343	900	12,984	2,674	133	604	3,411	277	206	991	344	1,818	18,213	6,425	4,310	28,948	315	92	3,614	32,562



本館における過去9年間の来館者数の推移



分館における過去9年間の来館者数の推移

※平成30年度より、12月から2月にかけて分館の受付は本館に集約している。

4. 小中学校利用状況

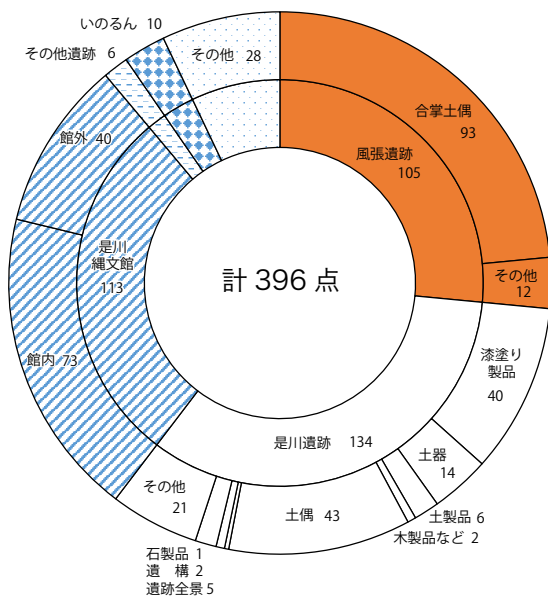
学校利用	1,704人	市内	1,100人 (小学校 21校 994人 中学校 5校 106人) ※詳細は下部表を参照
個人利用	1,572人	市外	552人
		市内	665人 (小学校 593人 中学校 72人)
		市外	959人
総計			3,276人

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
4/17	島守小学校 6 学年	見学・体験	9	9/3	是川小学校 6 学年	体験	36
5/14	鮫中学校 1 学年	見学・体験	50	9/3	八戸第一養護学校 中学部 1, 2 学年	見学	2
5/31	湊小学校 6 学年	見学・体験	50	9/4	江陽中学校	見学	6
6/3	白銀南小学校 6 学年	見学・体験	75	9/6	明治中学校	見学・体験	19
6/3	桔梗野小学校 6 学年	見学・体験	38	9/12	是川小学校 2 学年	体験	30
6/12	城下小学校 6 学年	見学・体験	33	9/13	根城小学校 6 学年	見学・体験	80
6/13	八戸第一養護学校 小学部 6 学年	見学	1	9/18	三条小学校 6 学年	見学・体験	43
7/4	中居林小学校 6 学年	見学・体験	48	11/15	美保野小学校 1, 3, 4, 6 学年	見学・体験	8
7/9	江陽小学校 6 学年	見学・体験	35	11/15	長者小学校 6 学年	見学・体験	56
7/12	吹上小学校 6 学年	見学・体験	78	11/19	柏崎小学校 6 学年	見学・体験	103
7/31	是川中学校 (公開授業)	見学	29	11/22	町畑小学校 5 学年	見学	5
8/21	大久喜小学校 5, 6 学年	見学・体験	14	11/28	桔梗野小学校 5 学年	見学・体験	11
8/27	是川小学校 3 学年	体験	23	11/28	江南小学校 5 学年	見学	7
8/28	是川小学校 4 学年	見学・体験	19	11/29	白鷗小学校 6 学年	見学	48
8/29	是川小学校 5 学年	体験	28	12/17	根岸小学校 6 学年	見学	69
8/30	是川小学校 1 学年	体験	19	12/20	多賀台小学校 6 学年	見学・体験	28

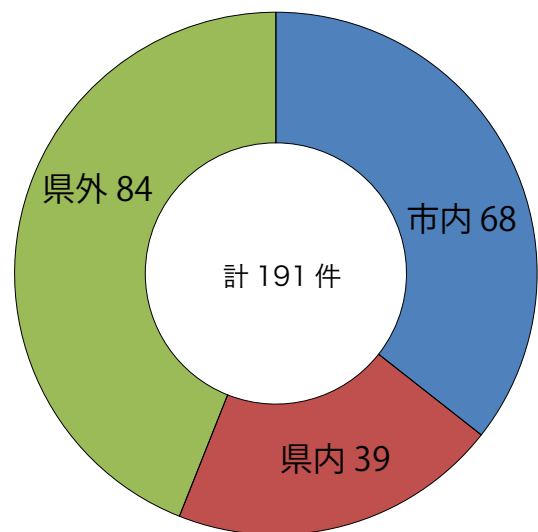
5. 資料利用状況

(1) 映像資料

平成 31・令和元年度は、申請数 191 件、合計 396 点の利用申請があった。前年と比べ件数は増加したが、点数は減少した。今年度の申請者も昨年度に引き続き県外が最多となった。利用目的では、書籍等への掲載のほか、テレビ利用や個人の SNS への掲載等がある。



映像資料利用種別内訳



申請者内訳

八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館 年報第9号

番号	申請者	資料名	点数	貸出しメディア	許可	掲載先
1	株式会社なんぶ 児童デイサービス・ファンマートふきあげ	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	4/3	Facebook
2	ユープラン	は川縄文館常設展示室ほか	2	映像撮影	4/9	Youtube「アオモリスタディツアー報告」
3	東京青森県人会	是川石器時代遺跡空中写真ほか	3	写真貸与・掲載	4/10	県人会会報5月号「東京と青森」表紙
4	東京書籍株式会社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/12	「デジタル教科書(教材) 新しい社会」
5	テレコムスタッフ株式会社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/16	テレビ番組「英雄たちの選択」
6	八戸市立島守小学校6学年	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	4/17	島守小学校ホームページ
7	株式会社ジェイアール東日本企画 盛岡支店	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	7	写真貸与・掲載	4/24	『青森県・函館観光キャンペーンガイドブック2019』
8	福島県立博物館	市子林遺跡出土 狩猟土器	1	写真撮影・掲載	4/24	資料調査
9	株式会社デリー東北新聞社	は川縄文館常設展示室	1	写真撮影・掲載	4/25	紙面
10	有限会社三森舎	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	4/26	講談社刊行『日本の歴史』第1巻「日本の始まり」
11	恵庭市郷土資料館	是川中居遺跡出土 木胎漆器写真ほか	3	写真貸与・掲載	5/2	第6回カリナ講演会「漆と縄文人」ポスター・チラシ
12	株式会社ピーエフエム	は川縄文館常設展示室	1	写真撮影	5/2	取材
13	十日町市博物館	復元縄文眼	1	写真貸与・掲載	5/8	新十日町市博物館縄文展示室
14	広報統計課	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	5/10	広報記事
15	有限会社いまの和弘	は川縄文館常設展示室ほか	3	写真撮影・掲載	5/14	鮎中学校卒業アルバム
16	六ヶ所村立南小学校6学年	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	5/16	社会科見学・体験学習
17	株式会社ジェイアール東日本企画 盛岡支店	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/17	『青森県・函館観光キャンペーンガイドブック2019』裏表紙
18	株式会社ジェイアール東日本企画 盛岡支店	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/17	青森県・函館観光キャンペーンポスター (B1サイズ)
19	株式会社ジェイアール東日本企画 盛岡支店	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真貸与・掲載	5/17	びゅうパンフレット「青森・函館」P6
20	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支店	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/22	「青森県・函館観光キャンペーン」プレスリリース資料
21	株式会社伊勢半本店 紅ミュージアム	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/22	紅ミュージアム常設展示室の展示パネル
22	株式会社オルタスタジヤパン	は川縄文館常設展示室ほか	3	映像撮影・掲載	5/23	テレビ番組「NHKBSプレミアム「ザ・穴場ツアー」
23	青森県観光国際戦略局観光企画課	風張1遺跡出土 落とし穴ほか	2	写真貸与・掲載	5/25	台湾の台北市で実施のプロモーションで展示
24	八戸ライオンズクラブ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	5/28	八戸ライオンズクラブ60周年記念誌の表紙その他
25	おいらせ町立木ノ下小学校6学年	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	5/29	学年だより
26	青森県ハーモニカ連盟	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/31	第38回東北ハーモニカフェスティバル2019in八戸パンフレット
27	有限会社スタジオ大島	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	5/31	湊小学校卒業アルバム
28	株式会社レマン	是川中居遺跡出土 赤漆塗り土器3点写真	1	写真貸与・掲載	6/4	「大人の休日倶楽部」7月号
29	青森県観光連盟	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/5	青森県・函館観光キャンペーン関連プロモーションイベント
30	青森県統計協会	は川中居遺跡出土 木胎漆器出土状況	1	写真貸与・掲載	6/8	令和2年版青森県民手帳
31	PDS 企画事務所	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/8	鳴鳳堂和食文化博物館内の和食年表
32	広報統計課シティプロモーション推進室	は川縄文館常設展示室	1	映像撮影	6/11	動画制作
33	八戸市立城下小学校	は川縄文館常設展示室	1	写真撮影・掲載	6/12	学校ブログ・学級だより・学年だより
34	株式会社八戸テレビ放送	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	6/12	「HTVニュース」
35	株式会社ジェイアール東日本企画 盛岡支店	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/13	「青森県・函館観光キャンペーン2019」PR映像
36	株式会社山川出版社	は川中居遺跡出土土偶	1	写真貸与・掲載	6/13	「大学入試共通テスト対応センター試験への道 日本史」
37	株式会社びゅうトラベルサービス	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	6/13	「びゅうたび」Webサイト記事
38	おいらせ町立百石小学校	は川縄文館常設展示室	1	写真撮影・掲載	6/14	学級通信
39	株式会社キヤドック	是川中居遺跡出土 赤漆塗り注口土器ほか	3	写真貸与・掲載	6/15	「ずかん縄文土器」
40	株式会社NHKエンタープライズ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	映像使用	6/18	『歴史秘話ヒストリア 縄文1万年の美と祈り』の継続配信
41	株式会社リミックス	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	6/18	はれ予報
42	八戸工業大学第二高等学校2学年	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	6/19	大学への出願書類として使用する可能性があるため
43	認定こども園マリアンハウス幼稚園	は川縄文館常設展示室ほか	2	映像撮影	6/20	園ホームページ
44	長野県立歴史館	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	8	写真貸与・掲載	6/21	「土偶展」の図録及び、展示パネル、配布資料、広報用資料
45	株式会社ベストセラーズ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/21	『一個人』8月号
46	八戸市水産科学館マリエント	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	6/22	マリエントホームページ・マリエント通信・活動冊子
47	十和田市教育委員会	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/25	十和田市小学校社会科副読本「わたしたちの十和田市」
48	南部町立剣吉小学校	は川縄文館常設展示室	2	写真撮影・掲載	6/26	学校だより・学年だより・剣吉小学校卒業アルバム
49	認定こども園マリアンハウス幼稚園	は川縄文館外観	1	写真撮影・掲載	6/27	園ホームページ
50	読売新聞北海道支社	是川中居遺跡出土 木胎漆器出土状況	1	写真貸与・掲載	6/28	『北海道・北東北の縄文遺跡群』の特集紙面
51	新高島立歴史博物館	是川中居遺跡出土 遮光器土偶ほか	4	写真貸与・掲載	7/2	特別展の刊行出版物等
52	八戸市博物館	是川考古館展示室ほか	9	写真貸与・掲載	7/2	市制施行90周年記念特別展での展示、解説パネル・配布資料等
53	三内丸山遺跡センター	八戸城跡 SI4堅穴住居跡	1	写真貸与・掲載	7/2	特別展「あおり土偶展」での図録
54	株式会社オルタスタジヤパン	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/5	「ザ・穴場ツアー〜青森・函館編〜」
55	株式会社東奥日報社	ヤギ除草の様子ほか	2	写真撮影・掲載	7/6	新聞「東奥日報」
56	東北造形教育研究大会	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/9	研究紀要、指導案
57	株式会社グレイル	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/9	『地形と海路から解き明かす！あなたの知らない古代史/ハンディ版』
58	株式会社ジェイアール東日本企画	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/9	青森県・函館観光キャンペーンにおけるホームページバナー
59	八戸商業高校	八戸市尾川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	7/9	絵馬
60	株式会社有藤社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/9	『神武天皇「以前」』
61	東奥日報社八戸支社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/10	紙面
62	青森観光戦略局観光企画課	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	7/10	企業とのコラボレーションにより開発した縄文関連商品の販促資料
63	ニシダテ写真倶楽部	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	7/10	階上町立石鉢小学校卒業アルバム
64	クラブツーリズム株式会社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/12	「クラブツーリズム8/10号」。「歴史への旅9/10号」
65	東奥日報社	是川中居遺跡出土 木胎漆器ほか	2	写真貸与・掲載	7/12	「北海道・北東北の縄文遺跡群」とは川石器時代遺跡を紹介する記事
66	有限会社スタジオ大島	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	7/12	八戸市立吹上小学校卒業アルバム
67	六ヶ所村立郷土館	は川縄文館外観ほか	3	写真貸与・掲載	7/15	「は川縄文館・これか縄文まつりツアー」のポスターとチラシ
68	株式会社ピーエフエム	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	2	写真撮影・掲載	7/15	「八戸経済新聞」
69	株式会社東奥日報社八戸支社	は川縄文館常設展示室	1	写真撮影・掲載	7/26	特別展取材
70	六戸町教育課	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	7/26	「広報ろくへの」、facebook 教育課アカウント
71	株式会社デリー東北新聞社	特別展示	1	写真撮影・掲載	7/28	「コム天鐘」
72	八戸市立吹上小学校	八戸市尾川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	7/30	八戸市小学校長会全国大会研究発表スライド及び配布資料
73	株式会社東京書籍	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/30	令和3年4月1日発行の中学校社会科教科書「新しい社会 歴史」
74	株式会社青森テレビ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	7/30	「OMOSHIROI BLOCK 国宝 合掌土偶」の紹介
75	株式会社電通青森営業所	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	2	写真貸与・掲載	8/6	「OMOSHIROI BLOCK 国宝 合掌土偶」PR動画制作
76	十日町市博物館	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/10	「縄文の国宝」の刊行物、ホームページ等
77	株式会社シーアンドアイ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	8/17	JR東日本「大人の休日倶楽部」WEBサイト
78	津南町教育委員会	是川中居遺跡出土 漆塗り弓ほか	3	写真貸与・掲載	8/17	秋季企画展の展示パネル及び展示図録
79	株式会社グレイル	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	8/17	「いまこそ知りたい天皇と日本の始まり」
80	ニシダテ写真倶楽部	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影	8/21	撮影
81	個人	は川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	8/24	個人SNS
82	関西国内旅行センター	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/27	募集型企画旅行商品の募集媒体
83	株式会社シービーツアーズ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/27	縄文ツアーのパンフレット
84	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室	1	映像撮影・掲載	8/28	テレビ「HTVニュース」
85	株式会社アルパ	是川中居遺跡出土 血形土器	1	写真貸与・掲載	8/30	「日本遺産 地域の歴史と伝統文化に学ぶ」
86	明治大学文学部 専任教授 阿部芳郎	新井田古館遺跡出土 土器	4	写真撮影	8/31	資料調査

平成31・令和元年度映像資料利用依頼一覧(1)

87	八戸商業高校	八戸市是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	9/3	縄文スゴロク
88	志村明彦, 志村裕子	是川縄文館常設展示室ほか	3	写真撮影・掲載	9/3	SNS
89	サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	石斧	1	写真貸与・掲載	9/4	小学6年生用社会科資料集
90	クラブツーリズム株式会社名古屋テーマ旅行センター	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/4	『旅の友』、『テーマのある旅』、『バスの旅』
91	八戸市立明治中学校1学年	是川縄文館常設展示室ほか	3	写真撮影・掲載	9/6	八戸市立明治中学校学校ブログ・学級便り等
92	八戸市博物館	田向遺跡出土 ツギノワグマ第1後白歯ほか	2	写真撮影・掲載	9/12	秋季特別展「クマと生きる一資料でたどる人と熊一」
93	八戸市立根城小学校6学年	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	9/13	八戸市立根城小学校卒業アルバム
94	山田設備機工株式会社	八戸市是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	9/13	山田設備機工株式会社工場2階西側壁面のコマージュ
95	株式会社フィーラー倶楽部	是川中居遺跡出土 漆塗り土器ほか	4	写真掲載	9/24	『ふいへら倶楽部』
96	盛岡市中央公民館	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/28	『高齢者の生きがい学習講座』
97	株式会社ネクス	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/1	テレビ番組『にっぽん!歴史鑑定』
98	株式会社エッジ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/1	テレビ番組『8K国宝シリーズ』
99	八戸ライオンズクラブ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶(背面)ほか	2	写真掲載	10/1	八戸市ライオンズクラブ60周年記念誌
100	株式会社ジェイアール東日本企画盛岡支店	風張1遺跡出土 国宝 合掌土偶ほか	2	写真掲載	10/1	パンフレット『あおり紀行』
101	株式会社デーリー東北新聞社	銅鍬(是川遺跡と泉山兄弟)	1	写真撮影・掲載	10/1	『きたおう人物伝』
102	NHK 八戸支局	是川縄文館企画展示室ほか	2	映像撮影・掲載	10/8	NHK ニュース
103	青森県観光国際戦略局観光企画課	是川縄文館企画展示室ほか	2	写真撮影・掲載	10/8	『まるごとあおり』のSNSに掲載
104	長野朝日放送株式会社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/10	土偶七味治(八幡屋職五郎製七味唐辛子)
105	青森県観光国際戦略局	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	10/10	『まるごとあおり』のブログ
106	弘南観光開発株式会社	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	10/12	企画募集旅行「弘南観光 第10回 福袋ツアー」のチラシ
107	労働保険事務組合八戸商工会議所	風張1遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/17	全国労保11月号
108	株式会社交通新聞社	是川縄文館常設展示室ほか	2	写真撮影・掲載	10/19	『みちのフ』各号
109	株式会社「和楽」編集部	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	10/24	『和楽web』
110	奥松島縄文村歴史資料館	是川縄文館常設展示室	2	写真撮影・掲載	10/27	資料館ホームページ、イベント「バスツアー」の報告書
111	びげプロダクション	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	撮影・使用	10/29	ドキュメンタリー映画『掘るほど 縄文狂騒曲』
112	株式会社春風社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/29	『すべてのビジネスマンが知っておくべき「教養としての日本美術」』
113	御所野縄文博物館	是川石器時代遺跡空中写真ほか	3	掲載	10/30	企画展示パネル
114	株式会社育鶴社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/6	『ユダヤ人植民地があった!』
115	株式会社敬文舎	荒谷遺跡出土資料集写真	1	写真貸与・掲載	11/6	ヒスカルセレクション3『弥生時代』
116	青森県観光国際戦略局観光企画課	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/6	飛び出す絵本
117	株式会社朝日新聞メディアプロダクション	是川縄文館 縄文の美展示室	1	写真貸与・掲載	11/6	『スタイルアサヒ』
118	観光課	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	11/8	『音楽知覚認識学会』の講演資料
119	朝日学生新聞社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/13	朝日中高生新聞12月1日号に掲載するため
120	イワダフォトスタジオ	是川縄文館常設展示室及び展示品	1	写真撮影・掲載	11/19	柏崎小学校撮影
121	八戸建設業協会	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	11/19	年賀状
122	毎日新聞 八戸通信部	企画展示室	1	写真撮影・掲載	11/20	毎日新聞
123	株式会社光文書院	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/22	『社会テスト6年』
124	袖ヶ浦市教育委員会	是川中居遺跡出土 木胎漆器出土状況ほか	3	写真貸与・掲載	11/22	記録集
125	株式会社デーリー東北新聞社	是川縄文館遺物ほか	2	写真撮影・掲載	11/26	紙面
126	階上町教育委員会	滑石の勾玉	1	写真撮影・掲載	11/26	『わんぱく王国』案内
127	株式会社デーリー東北新聞社	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影・掲載	11/27	デーリー東北(2020年1月掲載予定)
128	はっち市実行委員会	是川縄文館所蔵土偶	39	写真貸与・掲載	11/27	十日市寿悦氏による講演の映像資料
129	八戸市立江南小学校	是川縄文館常設展示室及び展示品	1	写真撮影	11/28	学習のまとめ
130	東京書籍株式会社	風張1遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/29	『新しい社会 6年歴史編』
131	株式会社デーリー東北新聞社	館内展示室並びに展示品	1	写真撮影・掲載	12/1	シュシュ2月号
132	株式会社東奥日報社	是川縄文館体験交流室	1	映像撮影	12/1	取材
133	階上町立道仏小学校	是川縄文館研修室	1	写真撮影・掲載	12/3	学級新聞
134	株式会社NHK出版	風張1遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/4	『日本美術の底力—縄文VS.弥生で読み解く』
135	株式会社平凡社	八戸市是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	12/4	『縄文ネサンス—現代社会が発見する新しい縄文』
136	デーリー東北新聞社	第1期整備基本計画完成イメージ図ほか	11	写真貸与・掲載	12/4	連載記事
137	秋田魁新報	是川中居遺跡出土 木胎漆器出土状況ほか	2	写真貸与・掲載	12/10	紙面
138	株式会社三省堂	風張1遺跡出土 国宝 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/10	『文部科学省検定済教科書 CROWN English Communication I』
139	北秋田市教育委員会	是川中居遺跡出土 木胎漆器出土状況	1	写真貸与・掲載	12/10	北秋田市郷土資料集
140	株式会社キープレム	是川縄文館常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	12/14	テレビ番組『AAA』
141	八戸市是川児童館	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	12/17	八戸市児童館パネル展と行事の景品
142	株式会社デーリー東北新聞社	企画展	1	写真撮影・掲載	12/18	紙面
143	株式会社陸奥新報社	是川石器時代遺跡の第1期整備完成予想パース	1	写真貸与・掲載	12/20	紙面
144	青森県環境生活部県民生活文化課	是川中居遺跡出土 耳飾り(集合写真)	1	写真貸与・掲載	12/21	青森県史デジタルアーカイブス トップ画面
145	株式会社世界思想社教学社	是川中居遺跡出土土偶	1	写真貸与・掲載	12/21	書籍『大学入学共通テスト日本史(文化史)』
146	株式会社デーリー東北新聞社	是川縄文館館内	1	写真撮影・掲載	12/21	『WITH YOU』紙面
147	釈迦堂遺跡博物館	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/27	展示パネル等
148	有限会社サウンドクワイエット	是川縄文館常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影・掲載	1/15	青森テレビ『いい☆ふる』放映予定
149	青森県観光国際戦略局	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	1/16	青森県の縄文をPRするフランス語版ブックレット
150	株式会社サンブラッソ・エイティープイ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	1/17	『あおり案内人養成講座』のちらし
151	公立大学法入国際教養大学	是川石器時代遺跡空中写真ほか	11	写真貸与・掲載	1/18	オンライン講義(JMOOC)内の資料
152	教育指導課	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	1/18	はちのへ郷土かるた(令和版)
153	株式会社報恩八田	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	1/21	お膳の掛け紙
154	小屋敷忠治	八戸市是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	1/23	総会資料
155	川口印刷工業株式会社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	5	写真貸与・掲載	1/28	岩手県東北広域振興局広報誌「北いわて最前線」
156	株式会社近畿日本ツーリスト北海道函館営業所	是川縄文館外観ほか	3	写真貸与・掲載	2/4	津軽海峡交流圏発信モニターツアーの広告・資料
157	青森放送八戸支社	是川縄文館常設展示室ほか	2	映像撮影・掲載	2/5	テレビ番組『RAB ニュースリーダー』
158	青森テレビ	是川縄文館体験交流室	1	映像撮影・掲載	2/6	テレビ番組『わっち!!ニュース』
159	青森県誘客交流課	是川縄文館常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影・掲載	2/11	台湾ブロガー取材
160	福田友之	是川中居遺跡出土 藍胎漆器ほか	3	写真貸与・掲載	2/13	『青森県の考古学ノート』
161	NHK 青森放送局	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/13	『北海道まるごとラジオ』の広報用テレビスポット広告やホームページ
162	観光課	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/15	団体旅行モデルツアーを掲載する冊子
163	八戸農業協同組合	是川縄文館常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影・掲載	2/18	『palja』
164	青森県誘客交流課	是川縄文館常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影・掲載	2/20	『明日どこ!? DX(TOKYO MX)』
165	古館光治	八戸市是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	画像貸与・掲載	2/21	第2回はちのへ縄文フェスのポスター、パンフレット
166	株式会社アフロ	是川中居遺跡出土 香炉形土器	1	写真貸与・掲載	2/26	高校3年生、予備校生対象の大学入試対策の模擬試験
167	関西国内旅行センター	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/26	募集型企画旅行商品の募集媒体
168	八戸農業協同組合	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与・掲載	2/26	『Palja』
169	株式会社TBSテレビ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/26	『あざちゃん』
170	高橋勝	是川縄文館外観	1	写真撮影	2/29	『palja』
171	日本郵便株式会社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/7	特殊切手「国宝シリーズ第1集」(63円)
172	株式会社イーノ	是川縄文館展示室ほか	2	写真貸与・掲載	3/7	『りぶる』4月号
173	秦野卓爾	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影・掲載	3/8	[MOCO]2020年6月号

平成31・令和元年度映像資料利用依頼一覧(2)

VI 管理運営概要等

174	株式会社中長印刷	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/11	「合掌土偶プリントせんべい」
175	写真工房おおすか	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/12	ポストカードとキーホルダー
176	株式会社アフロ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/12	中学生を対象とした社会科用の学習教材の表紙
177	株式会社おさきん	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/12	津軽めでた漬の商品パッケージ
178	子育て支援課	八戸市是川縄文館マスコットキャラクター「いのるん」	1	画像貸与・掲載	3/12	広報はちのへ連載記事
179	新光印刷株式会社	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	画像貸与・掲載	3/17	名刺印刷
180	株式会社北海道エアシステム	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	画像貸与・掲載	3/17	北海道エアシステム機内誌「HACMAGAZINE」
181	株式会社甲州屋洋服店	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	画像貸与・掲載	3/17	ポストカード、缶バッジ、マグネット、クリアファイルの作成
182	八戸高専同窓会事務局	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/21	書類用封筒
183	加藤瑞久	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影	3/20	中学校の社会の宿題提出のため
184	株式会社アドプリンター	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/24	Tシャツ、クリアファイル、マグカップ
185	株式会社トライアード	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/24	OMOSHROI BLOCK 国宝合掌土偶の商品説明並びにプロモーション
186	秋田県立博物館	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶ほか	21	写真貸与・掲載	3/24	特別展に係る図録及びチラシ
187	一般財団法人 VISIT はちのへ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/24	「はちのへ観光名刺」
188	日本特用林産振興会	是川中居遺跡出土 簡り太刀	1	写真貸与・掲載	3/24	令和元年度林野庁補助事業報告書
189	小川忠博	是川中居遺跡出土 土偶頭部ほか	2	写真貸与・掲載	3/27	展示・図録
190	株式会社テクノ	風張1遺跡出土 国宝・合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/31	オリジナル名刺台紙作成
191	青森朝日放送㈱	是川縄文館企画展展示室	1	写真撮影・掲載	3/31	「スーパーJチャンネルABA」昼ニュース

平成 31・令和元年度映像資料利用依頼一覧 (3)

(2) 実物資料

平成 31・令和元年度は合計 7 件の貸出を許可した。このうち、国宝・合掌土偶は、長野県立歴史館で開催された長野県立歴史館開館 25 周年記念「国宝 土偶展」に出展し、縄文時代を代表する各地の国宝土偶とともに、来場者の注目を集めた。

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	中居遺跡出土 甕形土器・管玉 一王寺遺跡出土 骨角器 八戸城跡出土 土偶様壺形土器他 計 46 点	H31.4.1 ~ R 2 .3.31	常設展示
2	三内丸山遺跡センター	八戸城跡出土 土偶様壺形土器 1 点	R1.7.1 ~ R1.9.20	夏季特別展「あおもり土偶展」
3	八戸市博物館	リーフレット『郷土の歴史・考古・民俗』 是川縄文館開館記念品 「いのるん」原型他 計 12 点	R1.7.1 ~ R1.8.31	市制施行 90 周年記念特別展「八戸 90 年の歩み」
4	新潟県立歴史博物館	重要文化財青森県是川遺跡出土品等 44 点	R1.8.26 ~ R1.11.25	天皇陛下御即位記念 第 34 回国民文化祭 第 19 回全国障害者芸術・文化祭 特別展『国民の文化財 あ、コレ知ってる！はにわ、どごう、かえんどきの昭和 平成』
5	八戸市博物館	田向遺跡出土 ツキノワグマ第 1 後臼歯 1 点	R1.9.27 ~ R1.11.30	令和元年度秋季特別展「クマと生きる一 資料でたどる人と熊一」
6	福島県立博物館	市子林遺跡出土 狩猟文土器 1 点	R1.8.20 ~ R1.11.30	令和元年度秋の企画展 「あにまらず ANIMAL×Zoo 一どうぶつの考古学一」
7	長野県立歴史館	風張 1 遺跡出土 国宝・合掌土偶	R1.10.19 ~ R1.11.14	長野県立歴史館開館 25 周年記念 「国宝 土偶展」

平成 31・令和元年度実物資料貸出一覧

6. 資料収蔵

(1) 収蔵対象

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や、写真・図面等の調査記録、関連図書の収集・収蔵・保管を実施している。また、是川縄文の里整備事業において活用するため、漆器生産等に関連する民族・民俗資料も収蔵対象としている。

(2) 出土遺物等

出土遺物等については、平成元年度以降に八戸市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した資料のほか、寄贈品等を収蔵している。収蔵施設には特別収蔵庫及び一般収蔵庫がある。特別収蔵庫には重要文化財、保存処理が完了した木製品・金属製品等の約700点を収蔵している。一般収蔵庫にはそのほかの土器、石器、土製品、石製品等が約3,000箱収蔵されている。収蔵庫内は資料を適切な状態で保管するため、常時温湿度管理を行っており、消火設備を備えている。資料は掲載されている調査報告書の図版ごとに平箱に収納している。

令和元年度は発掘調査で出土した遺物のうち、整理作業が終了した580点、70箱を新たに収蔵した。

(3) 写真・図面等

写真・図面等の調査現場における記録のほか、整理作業の過程で作成された遺物実測図等は調査記録保管室で収蔵保管している。八戸市教育委員会の発掘調査では、これまで記録保存の手段とし

ていた35mmフィルムの使用を必須としていたが、メーカーの製造数減少を受けて、今後の安定的な入手が困難と判断し、フルサイズ一眼レフデジタルカメラのみの記録を行っている。これらのデジタルデータを恒久的に保管するため、平成27年度からは、デジタルデータの長期保存運用方法の規格であるJIS Z6017に準拠したアーカイブBDドライブ（パイオニア製 BDR-PRIMC-U-AL）及びブルーレイディスクを導入している。今後はこれまで使用してきた35mmフィルムの写真記録についても、情報の選択を行い、順次デジタルデータへの以降を行う予定である。

(4) 図書

図書については、51,818冊を所蔵している。各地の地方自治体等が刊行している発掘調査報告書等の考古学・歴史学に関連する図書が大半を占める。蔵書のうち24,243冊は故・江坂輝彌氏による寄贈図書である。江坂図書は学史上重要な文献から外国語文献に至るまで多岐にわたる資料を含んでおり、調査・研究に活用されている。図書は書庫・研究室に収蔵されているほか、一部は閲覧コーナーにおいて一般開放している。

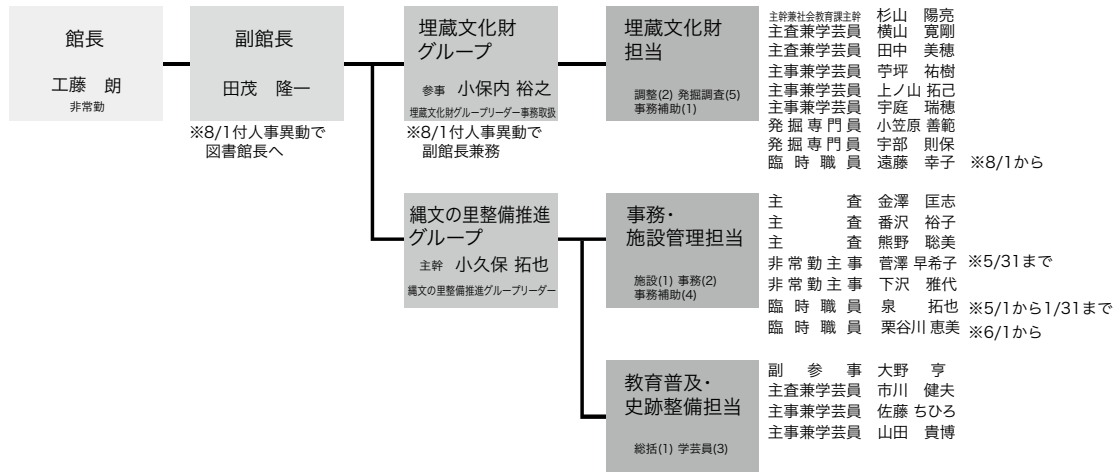
平成31・令和元年度は853冊（うち寄贈812冊、購入41冊）を新たに追加した。

7. 予算概要 ※補正予算の記載がない額は当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

予算内容		予算額 (円)	備考
運営経費		100,739,000	
《内訳》	施設維持管理経費	77,635,000	
	一般管理事務経費	23,104,000	
特別展・体験事業等開催事業費		30,467,000	
《内訳》	特別展経費	13,372,000	
	企画展経費	10,882,000	
	共同研究経費	73,000	
	教育普及経費	6,140,000	
是川縄文の里整備事業費		55,715,000	
発掘調査事業費		90,193,000	
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	63,212,000	
	八戸城跡発掘調査事業費	17,429,000	
	八戸城跡(その2)発掘調査事業費	2,284,000	
	酒美平遺跡発掘調査事業費	1,850,000	補正予算
	熊野堂遺跡発掘調査事業費	360,000	補正予算
	文化財調査管理事務経費	5,058,000	
埋蔵文化財保存活用費		8,738,000	
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	3,261,000	
	是川遺跡出土品保存修理事業費	5,477,000	
合計		285,852,000	

VII 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成7年 【会員数】145名(法人会員含む)

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ①縄文文化についての研修
- ②是川縄文館に関連する事業への協力
- ③縄文是川ボランティアへの支援
- ④縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤文化財保護思想の啓蒙等

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

このほか、毎年8月には「これかわ縄文まつり」を開催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、スタンプラリーといったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。令和元年度は、8月18日(日)に24回目となる「これかわ縄文まつり」を開催した。天候に恵まれ、ステージイベントが行われたほか、縄文体験コーナーや縄文鍋・トチもちのふ

るまいなどの各種イベントも好評であった。また、今年度はこどもはっちによる出店も行われ、来場者は約920人にのぼった。

春には、「第4回は川縄文の里俳句大会」を開催し、学生の部・一般の部あわせて517作品の応募があった。その中から優秀な作品を選考し、縄文館内で表彰を行った。

また、当協会は、「青森県の縄文遺跡群 世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進に係る普及啓発を行っている。



これかわ縄文まつりの様子

3. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和49年 【会員数】13人

【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動、及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。

特に環境整備等の活動では、平成6年に実施された分館敷地内の復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。

平成24・25年度には復元竪穴住居2棟の修繕を実施した。

4. 是川縄文隊

【設立年】平成24年 【会員数】9人

【目的・活動】

是川地域住民の宝である、是川縄文遺跡の保存・活用に寄与するとともに、是川縄文館を核とした「是川縄文の里」の地域振興を図ることを目的に発足。

当団体では、下記の行事をこれまで行ってきた。

- ①是川縄文館来館者への地域のPR
- ②是川縄文館来館者増につながる地域特性を活かした活動
- ③是川縄文遺跡の保存・活用・PRにつながる活動

令和元年6月22日から11月9日までに是川縄文館敷地内において、地域振興を図ることを目的に来館者へ周辺ガイドマップを配布したほか、是川産直野菜を販売するなど地域のPR活動を行った（10回開催）。

【解散日】令和2年3月15日



是川縄文隊の活動の様子

5. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成8年 【会員数】45人

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とし、下記の活動を行っている。

- ①縄文体験コーナー②土曜日体験教室③グループ・団体の体験学習の指導④縄文土器野焼き⑤学校・公民館等での体験学習の指導⑥研究・研修・学習会⑦是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド

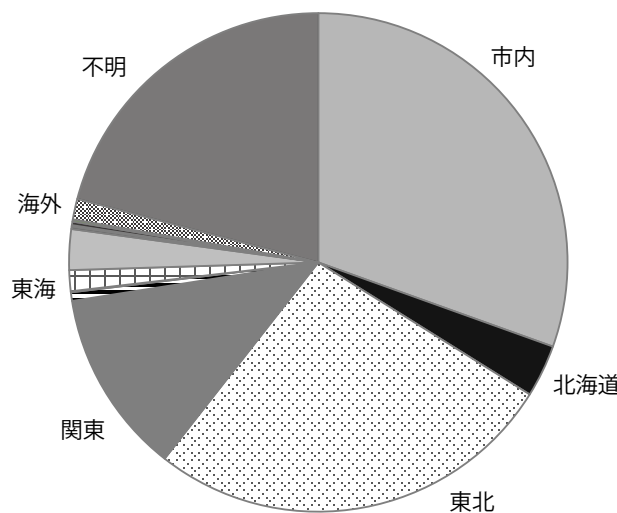
【活動実績】※体験学習指導の詳細については、III-3教育普及の実績、VI-2日記抄を参照されたい。



サポートスタッフ研修会の様子

月	開館 日数	延人数	一日平 均人数
4	27	194	7
5	27	227	8
6	27	221	8
7	29	262	9
8	30	257	9
9	26	230	9
10	27	216	8
11	26	221	9
12	23	157	7
1	23	153	7
2	24	161	7
3	26	43	2
計	315	2,342	7

縄文是川ボランティア
活動人数



縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況
※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握

都道府県	人数
八戸市内	1,711
北海道	191
東北	1,498
関東	671
信越	31
北陸	4
東海	76
近畿	148
中国	10
四国	4
九州	13
沖縄	8
海外	75
不明	1,173
総計	5,613

利 用 案 内

○開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

○観覧料

区 分	個 人	団 体
一般	250 円	130 円
大学生・高校生	150 円	80 円
中学生・小学生	50 円	30 円

※市内65歳以上、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額。特別展は料金が異なります。

○休館日

毎週月曜日（第一月曜日・祝日・振替休日の場合は開館）

祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）

年末年始（12月27日～1月4日）

※上記以外の臨時開館・臨時休館があります。

○交 通

バス：JR八戸駅から土日祝日のみ南部バスで22分

ラピアバスターミナル・中心街から南部バス（J42、J112）で約25分

中心街バスターミナル3（中央通）南部バスで約20分

自動車：八戸自動車道・八戸ICから約10分

タクシー：JR八戸駅東口より約15分 ※距離：約8km 料金：約3,000円

○駐車場

本館：普通車86台 大型バス6台 障がい者用3台

分館：普通車30台

○所在地

本館：青森県八戸市大字是川字横山1

TEL 0178-38-9511 FAX 0178-96-5392

分館：青森県八戸市大字是川字中居3-1

TEL 0178-96-1484

○ホームページ

<https://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
年 報
第 9 号 -平成 31・令和元年度-

発 行 日 2020 年 月 日
編 集 ・ 発 行 八戸市教育委員会
八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
〒 031-0023 青森県八戸市大字是川字横山 1
TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392

印 刷
〒
TEL () FAX ()